

平成24年度 事業報告書

はじめに	3
I. 法人の概要	3
1. 学校法人の沿革（概要）等	3
2. 学校法人跡見学園寄附行為	7
3. 寄附行為に定める事業内容	7
4. 所管官庁に関する事項	7
5. 設置する学校・学部・学科等	7
6. 理事・監事・評議員（第21期）、顧問	9
7. 学園組織	11
8. 専任教職員の概要	12
9. 学外施設	13
II. 事業の概要	14
1. 当該年度の主な事業の概要	14
2. 教育研究の概要	16
(1) 女子大学の概要	16
(2) 女子大学の実績	37
(3) 中学校高等学校の実績	52
3. 管理運営の概要	64
III. 財務の概要	73
1. 平成24年度跡見学園収支決算について	73
(1) 資金収支計算書	73
(2) 消費収支計算書	76
(3) 貸借対照表	79
(4) 財産目録	82
2. 過去5年間の収支決算の推移について	83
IV. 収益事業の概要	84
監査報告書	86

はじめに

平成24年度は、12月に民主党から自民党へと政権が再び交代したことにより、財政再建から、金融緩和、財政出動及び規制緩和によるデフレ脱却へと、政策スローガンが一変しました。

しかし、国力の衰えを予感させる少子高齢化、貿易収支の赤字化、財政状況の悪化や、北朝鮮の核問題、中国・韓国との外交摩擦等について、歯止めや収束を迎える見通しはなく、依然として政策の実効性は未知数と言わなければなりません。東日本大震災からの復興も、まだ道半ばにも達していません。

中東をはじめとする世界的な政情不安や欧州の金融危機も続くなか、日本における内外の厳しい環境の変化は、今後とも、教育にも大きな影響を及ぼして来ます。これから18歳人口の急減が再び数年後に口をあけて待つなかで、厳しい競争環境を勝ち抜く将来計画の立案や改革を進めるためには、これを支える財務の健全性を確保しつつ、今後の志願者、入学辞退、中途退学、進学・就職の動向や、価値観の流動化等について、既成観念や先入観に足をとられることなく、さらに一段と注意深く対処していく必要があります。

学園は、今後とも進学者から「選ばれる私学」として、女子の新しい進学需要を開拓し、入学者に対し「優れた教育」を行い、満足度の高い成果を提供できる「常に改革し前に動いている跡見」であることが求められています。

このために、現在、学園が新たに取り組む改革は、昨年度に引き続き、大学にあっては、都心にキャンパスを有する女子大学として、これに相応しい教育課程の再編とキャンパスの再整備であり、女性の生涯のなかにある可能性を社会に向かって最大限に引き出すための新たな教育方法の追求であります。また、中学高校にあっては、面倒見がよく、一段と高い大学進学競争力をもった学校として、生徒を伸ばすための教育体制への速やかな刷新であります。

学園としては、幕末にルーツをもつ近代女子教育の先駆的な私立学校である「跡見学校」以来の革新の伝統を継ぎ、女子教育に対する深い使命感と高い財務規律に立って、今後とも如何なる環境の変化にも対応できる健全な財務基盤を堅持し、些かの不安も生じることのない強い学園運営を図っていく所存であります。

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革（概要）等

- 1875（明治8）年1月8日 学祖跡見花蹊、東京神田に跡見学校を開設
- 1888（明治21）年1月8日 小石川柳町に校舎移転
- 1913（大正2）年11月21日 財団法人跡見女学校設立認可
- 1933（昭和8）年1月11日 小石川大塚校舎移転
- 1944（昭和19）年4月1日 高等女学校令により跡見女学校を跡見高等女学校に改称
- 1946（昭和21）年3月30日 跡見高等女学校専攻科設置認可（修業年限3年 文科国文、家政科）
- 1947（昭和22）年4月1日 跡見学園中学部設置認可（学制改革による）
- 1948（昭和23）年3月10日 跡見学園高等学校設置認可（学制改革による）
- 1949（昭和24）年3月31日 跡見高等女学校廃止認可
- 4月1日 跡見学園高等学校専攻科（文科：国文・英文課程、家政科：家政保健・生活芸術課程）、及び別科設置認可
- 1950（昭和25）年3月14日 跡見学園短期大学設置認可（文科国文・家政科〔家政保健・生活芸術課程〕修行年限2年）
- 3月31日 跡見学園高等学校別科廃止
- 11月10日 跡見学園中学部を跡見学園中学校に改称
- 1951（昭和26）年2月21日 財団法人跡見女学校より学校法人跡見学園に組織変更認可

- 3月31日 跡見学園高等学校専攻科生徒募集停止
- 1952 (昭和27) 年2月20日 跡見学園短期大学生活芸術科増設認可
- 1954 (昭和29) 年4月1日 跡見学園高等学校専攻科廃止届
- 1958 (昭和33) 年2月6日 跡見学園高等学校・中学校の「6年制一貫教育」体制の実施
- 1965 (昭和40) 年1月25日 跡見学園女子大学 (文学部国文学科、美学美術史学科) 設置認可
- 1966 (昭和41) 年12月26日 跡見学園女子大学文学部英文学科増設認可
- 1974 (昭和49) 年1月23日 跡見学園女子大学文学部文化学科増設認可
- 1975 (昭和50) 年10月21日 跡見学園創立100周年記念式典挙行
- 1982 (昭和57) 年1月16日 跡見学園短期大学入学定員変更、文科英文専攻課程設置認可
- 1985 (昭和60) 年12月25日 跡見学園短期大学文科英文専攻課程に臨時的定員増認可
- 1990 (平成2) 年9月28日 跡見花蹊生誕150年記念式典挙行
- 12月21日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増認可
- 1994 (平成6) 年8月30日 跡見学園短期大学から跡見学園女子大学短期大学部に名称変更認可
- 1995 (平成7) 年11月11日 跡見学園創立120周年記念式典挙行
- 11月15日 跡見学園女子大学花蹊記念資料館開館
- 1999 (平成11) 年10月20日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増延長認可
跡見学園女子大学短期大学部に臨時的定員増延長認可
- 2001 (平成13) 年5月29日 跡見学園女子大学文学部4学科 (国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科) を改組し、文学部人文学科の設置認可
開設時期 平成14年4月1日
- 8月1日 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科設置認可
開設時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部文科収容定員増に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部文科英文専攻課程の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部家政科収容定員減に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部生活芸術科収容定員減に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
- 12月20日 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科設置認可
開設時期 平成14年4月1日
- 2002 (平成14) 年3月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科の学生募集停止届出
実施時期 平成14年4月1日
- 4月1日 跡見学園女子大学文学部人文学科・臨床心理学科、マネジメント学部マネジメント学科開設
- 2003 (平成15) 年7月11日 跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程及び英文専攻課程名称変更届出
跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程・英文専攻課程及び家政科の収容定員変更届出

		入学定員
	文科国文専攻課程 —————> 言語文化科日本語専攻課程	-10名 (60名)
	文科英文専攻課程 —————> 言語文化科英語専攻課程	+5名 (100名)
	家 政 科	+5名 (100名)
	変更時期 平成16年4月1日	
7月22日	学校法人跡見学園寄附行為変更届 名称変更：短期大学部文科 —————> 短期大学部言語文化科 文科国文専攻課程 —————> 言語文化科日本語専攻課程 文科英文専攻課程 —————> 言語文化科英語専攻課程	
8月1日	跡見学園女子大学短期大学部収容定員関係学則変更届出書の受理通知受領 (文部科学省大学課短期大学係)	
2004 (平成16) 年11月30日	跡見学園女子大学大学院人文科学研究科日本文化専攻・臨床心理学専攻設置 認可 開設時期 平成17年4月1日	
2005 (平成17) 年3月23日	評議員会・理事会において可決承認 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置 以上開設時期 平成18年4月1日 跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止 実施時期 平成18年4月1日	
4月1日	代表権者確認の変更登記 「私立学校法の一部を改正する法律」(平成16年法律第42号)の施行に伴う変更登記	
4月5日	跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置届出 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置届出 跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止の報告 以上開設・実施時期 平成18年4月1日	
6月21日	跡見学園第19期役員・評議員改選、選任完了	
7月29日	跡見学園女子大学文学部人文学科、臨床心理学科及びマネジメント学部マネジメント学科の収容定員変更認可 人文学科 1,440名 臨床心理学科 480名 マネジメント学科 880名 変更時期 平成18年4月1日	
10月20日	跡見学園130年史『跡見学園—130年の伝統と創造』刊行	
11月12日	跡見学園創立130周年記念式典挙行	
12月5日	跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科マネジメント専攻設置 認可開設時期 平成18年4月1日	
12月13日	評議員会・理事会において可決承認 「跡見学園女子大学短期大学部の施設拡充計画(概要)」 工期 平成19年4月～平成20年9月	
12月20日	『跡見花蹊日記』刊行(全5巻のうち 第1巻～第4巻まで刊行)	
2006 (平成18) 年3月27日	跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科設置計画の変更協議書の提出 (文部科学省大学設置室法人係)	
9月30日	跡見学園女子大学文学部美学美術史学科廃止	

- 届出日 平成18年9月28日
- 12月5日 「大学教員組織の整備」
一学校教育法を一部改正する法律（平成17年法律第83号）—
助教授に代えて准教授を設けるとともに、助教を新設する。
大学及び大学院の学則を変更することを評議員会、理事会において承認可決し、文部科学省に提出
- 2007（平成19）年3月27日 施行日 平成19年4月1日
評議員会・理事会において可決承認
短期大学の廃止及びそれに伴う寄附行為の変更について決議
- 3月31日 跡見学園女子大学短期大学部閉学
(文部科学大臣の認可を待って廃止予定)
- 跡見学園女子大学文学部英文学科廃止
- 届出日 平成19年3月29日
- 4月20日 『跡見花蹊日記』第5巻刊行 『別巻 参考資料・補遺編』として刊行
- 4月23日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可申請
- 5月22日 跡見学園女子大学文学部文化学科廃止
- 届出日 平成19年5月21日
- 6月11日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可
短期大学部廃止に伴う寄附行為の変更登記
登記日 平成19年6月19日
短期大学部廃止に伴う寄附行為変更登記完了の届出
- 届出日 平成19年7月2日
- 9月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科廃止
- 届出日 平成19年9月27日
- 2008（平成20）年3月25日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件について決議
跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件について決議
- 3月31日 跡見学園鶴原寮閉寮
- 6月24日 跡見学園第20期役員・評議員改選、選任完了
- 11月4日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園女子大学文学部に現代文化表現学科を設置
跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科を設置
以上設置時期 平成22年4月1日
- 3月24日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科及びマネジメント学部観光マネジメント学科設置に伴う寄附行為の変更について決議
- 2009（平成21）年4月28日 跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科設置届出
跡見学園女子大学マネジメント学部観光マネジメント学科設置届出
以上開設時期 平成22年4月1日
- 2010（平成22）年5月25日 理事会・評議員会において可決承認
跡見学園女子大学の位置を平成23年4月1日より東京都文京区大塚一丁目5番2号に変更
- 5月27日 跡見学園女子大学の位置変更届出
届出日 平成22年5月27日
実施日 平成23年4月1日

- 2011（平成23）年10月25日 理事会・評議員会において可決承認
跡見学園中学校高等学校の職名「主事」を「副校長」に名称変更
- 2012（平成24）年1月31日 跡見学園中学校高等学校の職名「主事」を「副校長」に名称変更したことに伴う寄附行為変更の認可
- 申請日 平成23年12月15日
認可日 平成24年1月31日

2. 学校法人跡見学園寄附行為

大正二年十一月二十一日制定
(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

3. 寄附行為に定める事業内容

(目的)

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする。

4. 所管官庁に関する事項

文部科学省高等教育局私学部
東京都生活文化局私学部

5. 設置する学校・学部・学科等

(1) 女子大学

創設年度＝昭和40年度

所在地 住 所 〒112-8687 東京都文京区大塚一丁目5番2号
電 話 03-3941-7420 (事務室直通)
F A X 03-3941-8333 (事務室)

文京キャンパス 同 上
新座キャンパス 住 所 〒352-8501 埼玉県新座市中野一丁目9番6号
電 話 048-478-3333 (庶務課直通)
F A X 048-478-3111 (庶務課)

学長 山田 徹雄

1) 大学院

(単位：名)

研究科・専攻名		開設年度	入学定員	編入学 定員	入学者数 (H24年4月1日)	収容定員	学生数 (H24年5月1日)
人文科学研究科	日本文化専攻	平成17年度	8	0	2	16	1年 2 2年 2
	臨床心理学専攻	平成17年度	12	0	14	24	1年 14 2年 9
マネジメント研究科	マネジメント専攻	平成18年度	15	0	1	30	1年 1 2年 3
合 計			35	0	17	70	31

2) 学部

(単位：名)

学部・学科名		開設年度	入学定員	編入学 定員	入学者数 (H24年4月1日)	収容定員	学生数 (H24年5月1日)
文学部	人文学科	平成14年度	180	0	206 (0)	900	1年 206 2年 242 3年 193 4年 432
	臨床心理学科	平成14年度	120	0	137 (0)	480	1年 137 2年 126 3年 121 4年 121
	コミュニケーション 文化学科	平成18年度	120	0	117 (3)	450	1年 117 2年 129 3年 149 4年 119
	現代文化表現学科	平成22年度	90	0	118 (1)	270	1年 118 2年 117 3年 99
マネジメント学部	マネジメント学科	平成14年度	210	0	225 (1)	845	1年 225 2年 262 3年 237 4年 274
	生活環境 マネジメント学科	平成18年度	60	0	72 (0)	260	1年 72 2年 55 3年 71 4年 105
	観光 マネジメント学科	平成22年度	90	0	110 (0)	270	1年 110 2年 111 3年 99
合 計			870	0	985 (6)	3,475	4,047

* () は外数で編入学者数

(2) 高等学校

創設年度＝昭和23年度

所在地

住 所 〒112-8629 東京都文京区大塚一丁目5番9号

電 話 03-3941-8167 (庶務課直通)

F A X 03-3941-8685 (庶務課)

校長 嶋田 英誠

(単位：名)

学科・課程名	開設年度	入学定員	入学者数 (H24年4月1日)	収容定員	生徒数 (H24年5月1日)
全日制課程普通科	昭和23年度	300	256	900	765

(3) 中学校

創設年度＝昭和22年度

所在地 住 所 〒112-8629 東京都文京区大塚一丁目5番9号

電 話 03-3941-8167 (庶務課直通)

F A X 03-3941-8685 (庶務課)

校長 嶋田 英誠

(単位：名)

開設年度	入学定員	入学者数 (H24年4月1日)	収容定員	生徒数 (H24年5月1日)
昭和22年度	300	282	900	815

* 中学校の募集定員は270名

6. 理事・監事・評議員 (第21期)、顧問

(平成24年5月1日現在)

(1) 理事 13名

氏 名	職名・学園との関係	氏 名	職名・学園との関係
山 崎 一 穎	理事長 学識経験者	岡 田 章 子	評議員理事 (卒業生)
嶋 田 英 誠	職務上・中高校長 常務理事 (教学担当)	大 塚 和 子	評議員理事 (卒業生)
山 田 徹 雄	職務上・女子大学長 常務理事 (財務担当)	見 米 孝 尚	評議員理事 (保証人)
大 塚 博	職務上・女子大副学長	佐 藤 正 昭	評議員理事 (学識経験者)
住 川 明 子	職務上・中高副校長	日下部 禧代子	評議員理事 (学識経験者)
堀 雅 裕	職務上・法人事務局長 事業理事 常務理事 (総務・人事担当)	平 木 典 子	学識経験者
小 仲 信 孝	評議員理事 (教職員)		

(2) 監事 2名

氏 名	職名・学園との関係	氏 名	職名・学園との関係
金井塚 清	学識経験者	伊 澤 辰 雄	学識経験者

(3) 評議員 32名

氏 名	職名・学園との関係	氏 名	職名・学園との関係
大 野 二 朗	教職員 (大学)	田 子 郁 子	卒業生 (一紫会)
小 仲 信 孝	教職員 (大学)	池 田 文 子	卒業生 (一紫会)
山 口 豊 一	教職員 (大学)	山 田 徹 雄	職務上・女子大学長
花 澤 英 夫	教職員 (中高)	大 塚 博	職務上・女子大副学長
伊 東 利 博	教職員 (中高)	嶋 田 英 誠	職務上・中高校長

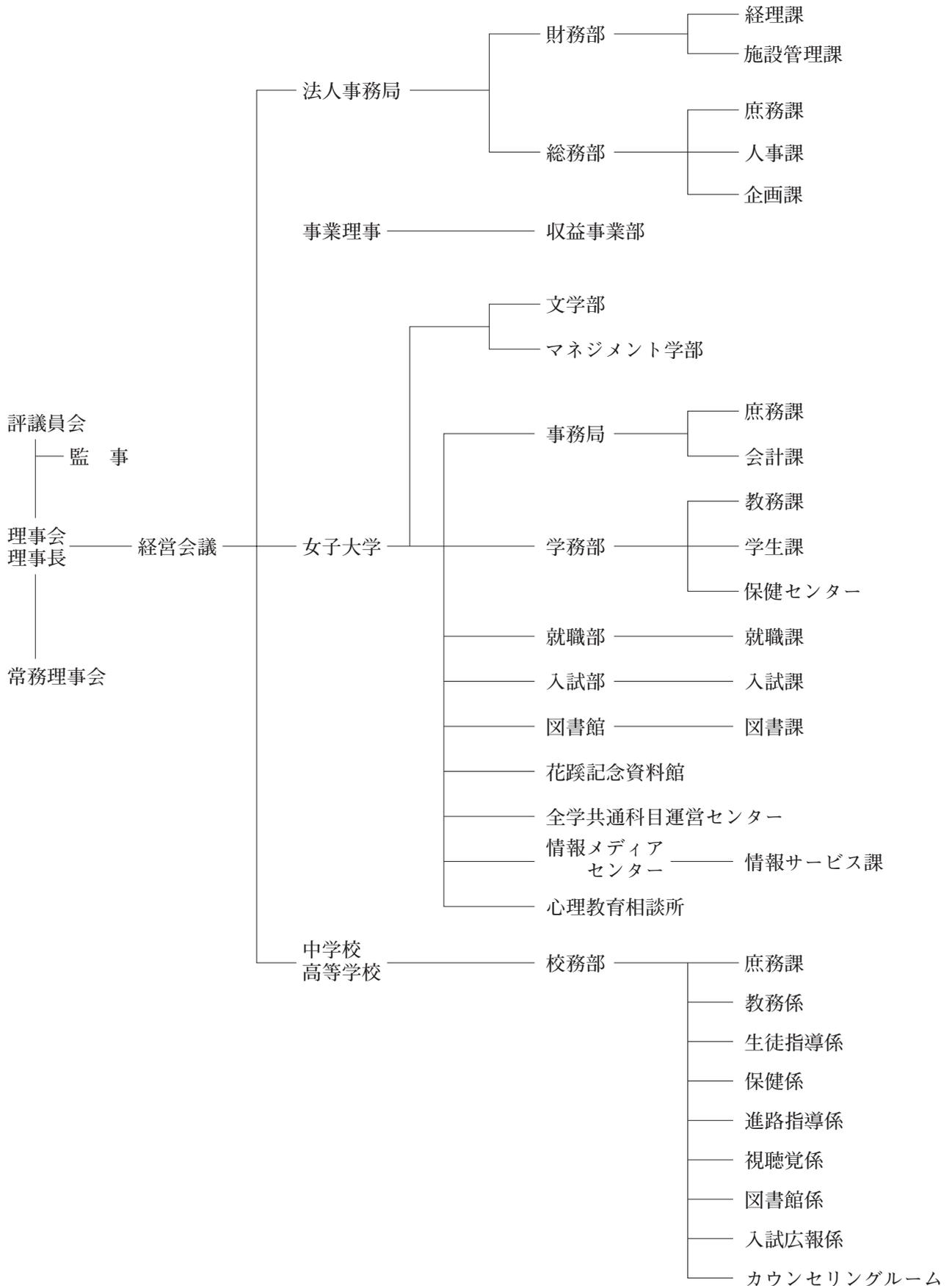
詫 磨 学	教職員 (法人)	住 川 明 子	職務上・中高副校長
木 村 安 子	卒業生 (泉会)	堀 雅 裕	職務上・法人事務局長
岡 田 章 子	卒業生 (泉会)	鈴 木 克 久	保証人 (大学)
川 合 智 子	卒業生 (泉会)	牧 野 丘	保証人 (大学)
松 浦 仁 子	卒業生 (泉会)	邊 見 孝 之	保証人 (大学)
山 下 陽 枝	卒業生 (校友会長・桃李の会)	見 米 孝 尚	保証人 (中高)
萬 葉 洋 子	卒業生 (桃李の会)	加 藤 三 郎	保証人 (中高)
田 中 恵美子	卒業生 (桃李の会)	佐 藤 正 昭	学識経験者
唐 木 フ ク	卒業生 (桃李の会)	日下部 禧代子	学識経験者
大 塚 和 子	卒業生 (一紫会)	宮 本 文 昭	学識経験者
藤 田 理恵子	卒業生 (一紫会)	今 野 雅 裕	学識経験者

注記 第314回評議員会 (平成24年5月22日開催) において、上表に加え4名の評議員が補選された。

(4) 顧 問 1名

氏 名	職名・学園との関係	備 考
跡 見 純 弘	学識経験者	前理事長

7. 学 園 組 織 (平成24年4月1日現在)



8. 専任教職員の概要 (平成24年5月1日現在)

(1) 教職員数等

1) 大学院教員

人文科学研究科 (学部専任教員14名兼任)

マネジメント研究科 (学部専任教員11名兼任)

(単位：名)

	専任					非常勤
	教授	准教授	講師	助教	計	
人文科学研究科	11	3	0	0	14	18 (他学部 兼任含む)
マネジメント研究科	11	0	0	0	11	
計	22	3	0	0	25	18
前期末比増減	0	+1	0	0	+1	+4
平均年齢	60	49			59	60

2) 大学教員

(単位：名)

		専任					非常勤
		教授	准教授	講師	助教	計	
文学部	人文学科	19	4	0	3	26	294
	臨床心理学科	8	4	0	0	12	
	コミュニケーション 文化学科	9	1	1	0	11	
	現代文化表現学科	5	3	0	0	8	
マネジメント学部	マネジメント学科	9	4	1	3	17	
	生活環境 マネジメント学科	5	1	0	2	8	
	観光マネジメント 学科	5	3	0	0	8	
計		60	20	2	8	90	294
前期末比増減		-2	+1	-1	+2	0	+18
平均年齢		61	49	42	38	56	51

3) 中学校高等学校教員

(単位：名)

		専任				非常勤
		校長	教諭	講師	計	
高等学校			30	4	34	21
中学校	常務理事が兼務		32	2	34	30
計			62	6	68	51
前期末比増減			+4	-3	+1	-2
平均年齢			45	34	44	46

4) 事務・技術・用務職員

(単位：名)

	事務職員	技術職員	用務職員	計
法人事務局	19	0	1	20
女子大学	68	0	2	70
中学校高等学校	10	0	1	11
計	97	0	4	101
前期末比増減	-1	0	-1	-2
平均年齢	41	0	65	42

※法人には事業部1名を含む

9. 学 外 施 設

(1) 北軽井沢研修所

住 所 〒377-1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地藏堂1991番地92

電 話 0279-84-2362

F A X 0279-84-1178

収容人数 約80名

テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

(2) 学生寮

住 所 〒352-0011 埼玉県新座市野火止五丁目17番17号

電 話 048-478-3337 (FAX兼)

収容人数 133名

設 備 全室個室 (洋室)

バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベッド、電話、インターネットアダプタを完備

食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置

食 事 平 日：朝食・夕食

日・祝日：朝食のみ

Ⅱ. 事業の概要

1. 当該年度の主な事業の概要

平成24年度事業の主な概要は、次のとおりである。

<法人関係>

○事業計画（目的）別予算編成方式を踏まえた予算編成の見直し

健全で安定した財務運営のため、平成25年度予算については、3ヶ月前倒しして、編成開始を7月17日、提出期限を10月9日にするとともに、経常経費について前年度比マイナス5%のシーリングを設定することにより、消費収支均衡の予算を編成した。

○寄付制度の整備

教育施設維持資金募金について、平成24年度から1口の金額を15万円から10万円に下げ、全学年にお願いしたところ、439名様から4,846万円のご応募を頂いた。この結果を踏まえて文部科学省に申請し、平成25年度より学園は税額控除の適用法人となる。

○サーバの外出しによる学園ネットワークの再構築

東日本大震災による新座キャンパス停電に伴うWebサーバ、Mailサーバ等の全面的なダウンの経験を踏まえ、事業継続の観点から、基幹サーバを中心に学外のデータセンターにサーバを移すことによる学園ネットワークの再構築を実施に移し、9月4日にリプレース（更新費157,500千円）が完了した。

○総合防災訓練の実施

震度6強の地震発生を想定し、大学の新座キャンパスと文京キャンパス、中学高校、及び法人事務局のすべてが参加する総合防災訓練を9月25日に一斉に実施した。当日は、避難訓練のほか、ペランダの避難器具の操作実習、消火器による消火訓練も実施した。

○学園ホームページの全面的なリニューアル

ホームページ発信情報の重要度の高まり、ステークホルダーの求める情報の多様化、受発信ツールの高機能化など、社会の情報環境が一段と進展しつつあることを勘案し、より強く外部の利用者目線に立って、学園ホームページを全面的にリニューアル（更新費13,986,000円）し、平成25年4月1日に一般公開した。

○職員研修の充実

職員のSD（スタッフ・ディベロップメント）を進める必要の観点から、実績のある日本能率協会の大学SDフォーラムに新たに参加した。22種の研修に41名が参加し、研修で得る知識・情報のほか、他大学の職員との交流の機会も得ることができた。

○防災備品の整備

学園全体で備蓄する防災機器、防災用品、医療用品、衛生用品、飲食料等の5項目にわたる防災備品（当初62品目）について、機関ごとの個数、保管場所、保管責任部署等を示した一覧表を作成し、拡大課長会議を通じて、その実際の活用や処分を想定した実効的な整備を継続的に進めることとした。

○小日向校地の用途変更

3月26日の理事会・評議員会で、音羽校地（文京区）を新しい学生寮の敷地に転用することを決議したことを受け、使われなくなっていたテニスコートの小日向校地（文京区）について、これを用途変更することにより、音羽校地と同様、平成25年度（具体的な始期は契約で定める。）から当分の間、時間貸し駐車場として賃貸することも併せて決定した。

○有価証券の活用

学校法人における資金運用について、安全性を第一としつつ、多様化を模索していたところ、今般、隣接する不動産を所有する金融機関との友好的関係を構築することを目的として、積立資金の一部（3億円）を、元本が償還時に返還され、リスクが極めて低いクレジットリンク債（参照組織は近畿日本鉄道 2015年10月償還でクーポンは0.90%）の購入に充てることとなった。

<大学関係>

○新学部設置時期の変更

平成25年度申請、翌26年度開設予定の新学部については、文部科学省との事前折衝で、設置認可申請に際して、学生確保の見通しに係るマーケティング（市場）調査による客観的なデータが必要との指導があったことに鑑み、慎重を期して申請を1年遅らせることとなった。

○国際交流組織の新設

海外との教育研究の交流を一段と充実させるため、組織変更により、平成25年度から大学事務局に国際交流課を、また中学高校には国際交流係を、それぞれ新設することとなった。

○新座キャンパス1号館耐震補強工事

震災に対する施設の安全を強化するため、新座キャンパス1号館について、一部減築を伴う耐震補強工事を実施し、9月25日に竣工（診断・設計を含む総事業費299,785,500円）となった。これにより、同1号館は通常の教室利用に復帰した。

○東日本大震災の被災学生に対する学費減免

東日本大震災の被災学生に対する学費減免（授業料免除）については、親元の家屋が損壊した者だけではなく、震災に伴って発生した原発事故の避難区域に親元がある者で、家屋損壊状況が確認不能、又は損壊軽微であっても避難により収入途絶・激減に直面し、就学継続が困難になっている者についても、減免対象として、引き続き実施した。

○茗荷谷交通ビルの賃借

東京都交通局が定期借家人公募した春日通り沿いの茗荷谷交通ビル（379.10㎡）について、学園広報の情報発信や文京区との地域連携を進めるため、135万円／月で入札し、12月14日付で落札した。賃貸借契約は、平成25年1月15日に締結した。借入期間は、平成25年2月28日～平成28年3月31日。これは、東京都交通局が、平成29年度から大塚車庫跡地の賃貸を開始する時期を見越して設定しているものである。

○新しい学生寮の設置

3月26日の理事会・評議員会で、定期借地及びBOT方式により、平成28年4月を目途に、老朽化した新座市野火止の学生寮に代わる新しい学生寮（80～100名収容）を、現在、時間貸し駐車場として賃貸している音羽校地（文京区）に建設することについて、専門業者と具体的な検討に入ることを決定した。

○大学の地域連携

大学は、高等教育の社会的責任の観点から、次のような協定を締結して地域との連携を一段と推進した。

7月25日 会津若松市と「学校法人跡見学園 跡見学園女子大学と会津若松市とのパートナーシップ協定」を締結

9月7日 文京区と「災害時における母子救護所の提供に関する協定」を締結

11月22日 和光市と「和光市と学校法人跡見学園 跡見学園女子大学との相互協力に関する包括協定」を締結

1月10日 新座市と「災害時における施設の使用に関する覚書」を締結

<中学高校関係>

○中学高校の組織改革

難関大学進学を重視した教育の徹底を図るため、平成25年度から教務・進路指導・生徒指導係の下に学年主任を、教務係の下に教科主任を位置づけ、校長のリーダーシップのもとに学校運営会議を新設して、中学高校の校務改革に取り組むこととなった。

○中学高校に隣接する土地の購入

中学高校校舎の裏手部分で隣接地（西元医院）が奇形的に浸食する形態となって運営・活動に障害となっていた事態を改善すべく、当該隣接する地所（75.64坪 250.08㎡）を2億5千万円で購入した。8月22日には売買契約が成立し、所有権移転登記は12月13日に、地所内の建屋の滅失登記は12月28日に完了した。

2. 教育研究の概要

・女子大学

(1) 女子大学の概要

(1) 教育研究上の基本となる組織に関する情報（学部、学科、課程等の名称）

大学等	学部・研究科等	学科
跡見学園女子大学	文学部	人文学科
		臨床心理学科
		コミュニケーション文化学科
		現代文化表現学科
	マネジメント学部	マネジメント学科
		生活環境マネジメント学科
		観光マネジメント学科
	人文科学研究科	日本文化専攻
		臨床心理学専攻
	マネジメント研究科	マネジメント専攻

(2) 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報

大学等	学部・研究科等	学科	教員数
跡見学園女子大学	文学部	人文学科	26名
		臨床心理学科	12名
		コミュニケーション文化学科	11名
		現代文化表現学科	8名
	マネジメント学部	マネジメント学科	17名
		生活環境マネジメント学科	8名
		観光マネジメント学科	8名
	人文科学研究科		14名
	マネジメント研究科		11名
	【教員の保有学位または職務上の実績等】 博士後期課程修了または単位取得満期退学者 文学部34名、マネジメント学部23名、人文科学研究科11名、マネジメント研究科5名		

(3) 学生に関する情報

学部・研究科	入学者数	収容定員	在学者数	卒業者数	進学者数
【入学に関する基本的な方針】 跡見学園女子大学は、大学教育に耐え得る基礎的な学力を持ち、物事に積極的に取り組むチャレンジ精神によって、自律的かつ自立的な社会人を目標とする受験生を求める。入学後、幅広い視野を身につけ、学問を通じて問題を自ら設定し、情報を収集・分析して企画・立案できるスキルを修得するためには、本学の教育課程に対する理解と本学の教育課程を修得しようとする意欲が求められる。					
文学部	578名	2,100名	2,426名	612名	33名
マネジメント学部	407名	1,375名	1,621名	352名	6名
人文科学研究科	16名	40名	27名	8名	0名
マネジメント研究科	1名	30名	4名	3名	0名
【就職者768名卒業後の進路】 <input type="checkbox"/> 業種別就職状況 (3/31現在) 農業 0.1%、建設・不動産 7.9%、製造 9.1%、電気・ガス・熱供給・水道業 0.3%、情報・マスコミ 7.7%、運輸 2.2%、商社・流通 25.8%、飲食・宿泊 6.1%、旅行・娯楽 3.6%、金融 9.8%、教育 4.3%、医療・福祉 7.7%、サービス 13.2%、複合サービス 0.9%、公務・非営利 1.3%					
<input type="checkbox"/> 具体的な就職先等 ●建設業・不動産 ・旭化成ホームズ(株)・(株)木下工務店・積水ハウス(株)・ダイダン(株)・東京ガスエネワーク(株)・栃木セキスイハイム(株)・三井ホーム(株)・スターツコーポレーション(株)・住友不動産販売(株)・東急リバブル(株)・野村リビングサポート(株)・三井不動産リアルティ(株)●製造・(株)アルビオン・オークマ(株)・興研(株)・山洋電気(株)・トーヨーキッチンアンドリビング(株)・フクダ電子(株)・(株)フジキン●通信・放送・映像・広告・ソフトバンクグループ・(株)エフエムサウンズ●情報サービス産業・(株)アルゴグラフィックス・NECフィールディング(株)・(株)サイバーエージェント・(株)ザッパラス・楽天(株)●陸運・水運・航空・佐川急便(株)・(株)ジャルエクスプレス・全日本空輸(株)・東日本旅客鉄道(株)●商社・資生堂販売(株)・ダイワボウ情報システム(株)・富士エレクトロニクス(株)・富士機材(株)・(株)ルネサスイーストン●百貨店・スーパーマーケット・(株)イトーヨーカ堂・(株)セブン-イレブン・ジャパン・(株)東武百貨店・(株)丸広百貨店・(株)三越伊勢丹●アパレル・ファッション・青山商事(株)・(株)オンワード樫山・(株)サマンサタバサジャパンリミテッド・(株)シップス・(株)チュチュアンナ・(株)東京スタイル・(株)トゥモローランド・(株)ファイブフォックス・(株)ユナイテッドアローズ・(株)ワコール●自動車販売・東京トヨタ自動車(株)・(株)ホンダプロモーション●その他小売・(株)オカダヤ・(株)グレーストーン・(株)コメ兵・楽天マート(株)・(株)和真●銀行・信用金庫・みずほフィナンシャルグループ・(株)三井住友銀行・(株)三菱東京UFJ銀行・(株)千葉銀行・(株)筑波銀行・(株)東京都民銀行・(株)東和銀行・(株)栃木銀行・(株)武蔵野銀行・(株)山形銀行・(株)横浜銀行・さわやか信用金庫・城北信用金庫・信金中央金庫・巣鴨信用金庫●証券・SMBC日興証券(株)・大和証券(株)・三菱UFJ投信(株)●その他金融・(株)クレディセゾン・(株)ジャックス・東急カード(株)●保険業・アニコム損害保険(株)・アメリカンファミリー生命保険会社・NKSJひまわり生命保険(株)・第一生命保険(株)・三井住友海上火災保険(株)・明治安田生命保険(相)●食品・(株)精養軒・タリーズコーヒージャパン(株)・(株)なとり・フジッコ(株)●学校・教育・学習支援・(株)貞静学園●旅行・(株)エイチ・アイ・エス・近畿日本ツーリスト個人旅行(株)・(株)JTB関東・(株)JTB首都圏・(株)JTBメディアリテリング・(株)旅工房・(株)東急リゾートサービス・東武トラベル(株)・トップツアー(株)●その他サービス・(株)インテリジェンス・(株)エスクリ・(株)クラディアコスチュームサービス・(株)スタジオアリス・(株)スターフライヤーフロンティア・(株)テイクアンドギヴ・ニーズ・三井不動産ファシリティーズ(株)●複合サービス事業・日本郵便(株)●公務・非営利団体・日本年金機構・八王子市役所・三郷市役所・独立行政法人労働者健康福祉機構●教員・東京都・埼玉県・(学)佐藤栄学園					

(4) 教育課程に関する情報

1) 全学共通科目教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分		修得要件	授業科目		
言語情報 科目	外国語科目	2単位	英語基礎Ⅰ [2]		
		2単位	英語基礎Ⅱ (コミュニケーション) [2]		
		8単位	英語AⅠ [2]	フランス語Ⅰ [2]	中国語Ⅰ [2]
			英語AⅡ [2]	フランス語Ⅱ [2]	中国語Ⅱ [2]
			英語AⅢ [2]	フランス語Ⅲ [2]	中国語Ⅲ [2]
			英語AⅣ [2]	フランス語Ⅳ [2]	中国語Ⅳ [2]
			英語BⅠ [2]	ドイツ語Ⅰ [2]	
			英語BⅡ [2]	ドイツ語Ⅱ [2]	
			英語BⅢ [2]	ドイツ語Ⅲ [2]	
	英語BⅣ [2]	ドイツ語Ⅳ [2]			
	外国語 展開科目	選択	英語マルチメディアレスン基礎A (総合) [2]	フランス語 (中級) [1]	
			英語マルチメディアレスン基礎B (TOEIC) [2]	ドイツ語(中級) [1]	
			英語 (中級) [1]	中国語 (中級) [1]	
	情報処理 科目	1単位	コンピュータ・コミュニケーションⅠ [1]		
		1単位	コンピュータ・コミュニケーションⅡ [1]		
	情報処理 展開科目	選択	画像処理基礎演習 [1]	マルチメディア基礎演習 (音楽制作) [1]	
			Web制作 [1]	Microsoft Office Specialist 特別演習 [1]	
マルチメディア基礎演習 (映像制作) [1]					
基礎理論 科目	演習	1単位	プロゼミⅠ [1]		
		1単位	プロゼミⅡ [1]		
	講義	2単位以上	文芸理論 [2]	論理学 [2]	情報理論 [2]
			歴史理論 [2]	言語科学 [2]	科学史 [2]
			異文化理解 [2]	記号論 [2]	
		認識論 [2]	統計学 [2]		
教養科目	8単位以上	哲学 [2]	フランス文学 [2]	数学 [2]	
		倫理学 [2]	ロシア文学 [2]	物理学 [2]	
		心理学 [2]	西洋古典文学 [2]	天文学 [2]	
		教育学 [2]	地理学 [2]	地球科学 [2]	
		保育学 [2]	社会学 [2]	生物学 [2]	
		日本現代史 [2]	国際関係論 [2]	化学 [2]	
		アジア現代史 [2]	ボランティア論 [2]	自然保護論 [2]	
		ヨーロッパ現代史 [2]	法学 [2]	生理学 [2]	
		日本文学 [2]	日本国憲法 [2]	健康科学 [2]	
		中国文学 [2]	政治学 [2]	情報科学 [2]	
		英文学 [2]	経済学 [2]		
		ドイツ文学 [2]	家政学 [2]		

科目区分	修得要件	授業科目		
人文・社会共通専門科目	選択	環境心理学 [2]	教育社会学 [2]	現代ジャーナリズム論 [2]
		コミュニティ心理学 [2]	人間関係論 [2]	イベント論 [2]
		教育原理 [2]	社会調査法 [2]	
		生涯学習概論 [2]	フィールドワーク方法論 [2]	
社会人形成科目	1単位	花蹊の教育と女性の生き方 [1]		
	1単位	ライフプラン・キャリアプラン [1]		
	1単位	ソーシャルマナー [1]		
応用実践科目	選択	パーソナリティを考える [2]	産業と職業 [2]	TOEIC特別演習 [2]
		「自分らしさ」を探る [2]	マスコミとの付き合い方 [2]	ディベート演習 [2]
		対人関係のスキル [2]	会計学特別演習 [2]	ビジネス文章表現演習 [2]
		ストレス・マネジメント [2]	ビジネス特別演習 [2]	プレゼンテーション演習 [2]
		職業人のルールとモラル [2]	自己表現特別演習 [2]	
体育実技科目	選択	体育実技A [1]	体育実技D [1]	体育実技G [1]
		体育実技B [1]	体育実技E (水泳) [1]	体育実技H [1]
		体育実技C [1]	体育実技F (水泳) [1]	
合計	42単位以上			

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
言語情報科目	外国語展開科目 選択	英語マルチメディアレッスンA (総合) [2]	英語演習C (ビジネス) [1]	中国語演習 [1]
		英語マルチメディアレッスンB (TOEIC) [2]	英語演習D (観光) [1]	ギリシア語 [1]
		英語演習A (資格) [1]	フランス語演習 [1]	ラテン語 [1]
		英語演習B (コミュニケーション) [1]	ドイツ語演習 [1]	
	情報処理展開科目 選択	コンピュータ・グラフィックス (3D) [1]	Flashアニメーション [1]	Microsoft Office Specialist 特別演習 (上級) [1]
		コンピュータ・グラフィックス (CAD) [1]	デジタル編集 [1]	
モバイルWeb制作 [1]		Windowsプログラミング [1]		
教養科目	4単位以上	日本宗教論 [2]	ジェンダー論 [2]	水産学 [2]
		聖書学 [2]	刑事法 [2]	河川海洋学 [2]
		深層心理学 [2]	民事法 [2]	農林科学 [2]
		ヨーロッパ中世文学 [2]	国際法 [2]	公衆衛生論 [2]
		ミステリー文学 [2]	国際社会論 [2]	精神病理学 [2]
		児童文学 [2]	国際経済 [2]	ネットワーク論 [2]
		ファッション論 [2]	建築環境論 [2]	
人文・社会共通専門科目	選択	家族心理学 [2]	近代家族論 [2]	メディア環境論 [2]
		マーケティング心理学 [2]	男性学 [2]	プロダクトデザイン論 [2]
		教育学概論 [2]	マーケティングコミュニケーション [2]	
社会人形成科目	1単位以上	日本漢字能力演習 [1]		
		実用数学技能演習 [1]		

科目区分	修得要件	授業科目		
応用実践科目	選択	情報処理特別演習 [2]	公共経済特別演習C[2]	色彩検定特別演習 [1]
		公共経済特別演習A[2]	簿記特別演習 [4]	
		公共経済特別演習B[2]	イベント検定特別演習 [1]	
総合科目	4単位以上	総合科目 [2]		
合計	16単位以上			

合計修得単位数 58単位以上

2) 文学部人文学科教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
総論	8単位以上	日本史概説A[2]	書芸術の鑑賞 [2]	比較文学概論 [2]
		日本史概説B(近代) [2]	西洋史概説A[2]	中国文学概論 [2]
		民俗学 [2]	西洋史概説B(近代) [2]	歴史学概論 [2]
		日本美術史(鑑賞を含む) A[2]	西洋美術史(鑑賞を含む) A[2]	考古学概説 [2]
		日本美術史(鑑賞を含む) B[2]	西洋美術史(鑑賞を含む) B[2]	地理学概説 [2]
		日本文学概論 [2]	英米文学概論 [2]	東洋史概説 [2]
		国語学概論 [2]	英語学概論 [2]	東洋美術史(鑑賞を含む) [2]
		日本文学史 [2]	英米文学史 [2]	哲学概論 [2]
		日本芸能論 [2]	英語コミュニケーション概論 [2]	美学概論 [2]
		書道史 [2]	比較文化概論 [2]	宗教学概論 [2]
				文化人類学 [2]
				博物館概論 [2]
研究入門	4単位	人文学研究入門A[2]		
		人文学研究入門B[2]		
基礎実習	選択	書道基礎実習A I (入門) [1]	絵画基礎実習Ⅱ(応用) (映像メディア表現を含む) [1]	工芸基礎実習 I (入門) [1]
		書道基礎実習A II (応用) [1]	デザイン基礎実習 I (入門) (映像メディア表現を含む) [1]	工芸基礎実習Ⅱ(応用) [1]
		書道基礎実習B(楷書) [1]	デザイン基礎実習Ⅱ(応用) (映像メディア表現を含む) [1]	
		書道基礎実習C(行書) [1]	彫刻基礎実習 I (入門) [1]	
		絵画基礎実習 I (入門) (映像メディア表現を含む) [1]	彫刻基礎実習Ⅱ(応用) [1]	
実習	選択	芸術芸能実習A(茶道) [1]		
		芸術芸能実習B(華道) [1]		
		芸術芸能実習C(香道) [1]		
文学部共通 専門科目	選択	文芸創作論 [2]	装いの心理学 [2]	
		レトリック概論 [2]	化粧の心理学 [2]	
		言語学概論 [2]	教育相談及びカウンセリング [2]	
		芸術論 [2]	教育の方法及び技術の研究 [2]	
		造形論 [2]	生徒指導及び進路指導 [2]	
		色彩論 [2]	図書館概論 [2]	
合計	20単位以上			

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
各論	16単位以上	日本の歴史と社会 [2]	国語音声学 [2]	イギリス古典文学 [2]
		日本文化史 [2]	日本語文章表現 [2]	現代イギリス文学 [2]
		伝承文化論 [2]	テキスト構造論 [2]	アメリカ古典文学 [2]
		近代美術史(鑑賞を含む) [2]	書論 [2]	現代アメリカ文学 [2]
		風俗史 [2]	ヨーロッパの歴史と社会 [2]	比較文学A [2]
		日本思想史 [2]	ヨーロッパ文化史 [2]	比較文学B [2]
		文化財学 [2]	イスラム研究 [2]	女性作家の文学 [2]
		漢文学 [2]	アメリカ研究 [2]	女性と文化 [2]
		古代日本文学 [2]	西洋図像学 [2]	中国文化史 [2]
		中世日本文学 [2]	西洋哲学史 [2]	東西美術交流 [2]
		近世日本文学 [2]	現代思想 [2]	中国哲学史 [2]
		近代日本文学 [2]	多文化社会と民族問題 [2]	比較神話論 [2]
		国語史 [2]	ヨーロッパ文学 [2]	文化と心理 [2]
				文化と身体 [2]
特殊講義		人文学特殊講義 [2]		
特殊演習		文芸ライティング演習A(創作) [1]		
		文芸ライティング演習B(創作) [1]		
		文芸ライティング演習C(短歌) [1]		
		文芸ライティング演習D(俳句) [1]		
実習	10単位以上	書道実習A(草書) [1]	絵画実習B(洋画) [1]	彫刻実習A(塑像) [1]
		書道実習B(隷書) [1]	絵画実習C(日本画) [1]	彫刻実習B(石膏) [1]
		書道実習C(篆書・篆刻) [1]	絵画実習D(特殊表現) [1]	彫刻実習C(テラコッタ) [1]
		書道実習D(仮名) [1]	デザイン実習A(色彩構成) [1]	彫刻実習D(金属造形) [1]
		書道実習E(漢字仮名交じり) [1]	デザイン実習B(平面構成) [1]	工芸実習A(紙) [1]
		書道実習F(実用書法) [1]	デザイン実習C(空間構成) [1]	工芸実習B(木) [1]
		絵画実習A(洋画) [1]	デザイン実習D(視覚伝達デザイン) [1]	工芸実習C(空間演出) [1]
				工芸実習D(土) [1]
演習	6単位	人文学演習Ⅰ [2]		
		人文学演習Ⅱ [4]		
文学部共通 専門科目	選択	演劇論 [2]	情報文化史 [2]	
		言語哲学 [2]	色彩象徴論 [2]	
		朗読法 [2]	図書・図書館史 [2]	
		非言語コミュニケーション論 [2]	情報サービス演習A[1]	
		コミュニケーション心理学 [2]		
後期課程合計	46単位以上			

合計修得単位数 66単位以上

3) 文学部現代文化表現学科教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
総論	2単位	文化表現基礎論 [2]		
	2単位	現代文学概論 [2]		
	4単位以上	文化創造論 [2]	身体表現論 [2]	ポピュラーカルチャー概論 [2]
		現代メディア論 [2]	現代社会と文化表現 [2]	
研究入門	2単位	現代文化表現学研究入門A [2]		
	2単位	現代文化表現学研究入門B [2]		
基礎実習	選択	映像メディア基礎実習 [1]	現代デザイン基礎実習 [1]	
		デジタル表現基礎実習 [1]	パフォーマンス基礎実習 [1]	
文学部共通 専門科目	選択	文芸創作論 [2]	造形論 [2]	教育相談及びカウンセリング [2]
		レトリック概論 [2]	色彩論 [2]	教育の方法及び技術の研究 [2]
		言語学概論 [2]	装いの心理学 [2]	生徒指導及び進路指導 [2]
		芸術論 [2]	化粧の心理学 [2]	図書館概論 [2]
合計	20単位以上			

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
各論	16単位以上	現代文化表現史 [2]	写真論 [2]	デザイン文化論 [2]
		文化表現の倫理 [2]	女性と文化表現 [2]	スポーツ文化論 [2]
		文化表現とテクノロジー [2]	消費社会論 [2]	マンガ・アニメーション論 [2]
		現代言語表現論 [2]	映像芸術論 [2]	舞台芸術論 [2]
		文化創造における伝統と現代 [2]	ファッション文化論 [2]	コマーシャル表現論 [2]
		文化批評 [2]	現代アート論 [2]	現代建築文化論 [2]
				デジタル表現論 [2]
			ポピュラー音楽論 [2]	
特殊講義	6単位以上	現代文化表現学特殊講義 (現代文学・ポピュラーカルチャー) [2]	現代文化表現学特殊講義 (都市・社会) [2]	現代文化表現学特殊講義 (メディア・アート) [2]
特殊演習	4単位以上	ライティング特殊演習 (広告・広報) [1]	ライティング特殊演習 (編集・ジャーナリズム) [1]	ライティング特殊演習 (ウェブ・DTP) [1]
実習		映像メディア実習 [1]	デジタル表現実習 [1]	現代デザイン実習 [1]
		パフォーマンス実習 [1]		
演習	6単位 (各Ⅰから2単位 各Ⅱから4単位)	現代文化表現学演習Ⅰ (現代テキスト表現) [2]	現代文化表現学演習Ⅰ (パフォーマンス) [2]	現代文化表現学演習Ⅱ (コンピューターと現代文化) [4]
		現代文化表現学演習Ⅰ (文化の社会学) [2]	現代文化表現学演習Ⅰ (モード文化) [2]	現代文化表現学演習Ⅱ (現代音楽文化) [4]
		現代文化表現学演習Ⅰ (映像表現) [2]	現代文化表現学演習Ⅱ (現代テキスト表現) [4]	現代文化表現学演習Ⅱ (パフォーマンス) [4]
		現代文化表現学演習Ⅰ (コンピューターと現代文化) [2]	現代文化表現学演習Ⅱ (文化の社会学) [4]	現代文化表現学演習Ⅱ (モード文化) [4]
		現代文化表現学演習Ⅰ (現代音楽文化) [2]	現代文化表現学演習Ⅱ (映像表現) [4]	
文学部共通 専門科目	選択	演劇論 [2]	非言語コミュニケーション論 [2]	色彩象徴論 [2]
		言語哲学 [2]	コミュニケーション心理学 [2]	図書・図書館史 [2]
		朗読法 [2]	情報文化史 [2]	情報サービス演習A [1]
合計	46単位以上			

合計修得単位数 66単位以上

4) 文学部コミュニケーション文化学科教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
総論	2単位	コミュニケーション文化概論 [2]		
	2単位	日本語コミュニケーション論 I (音声) [2]		
	6単位以上	コミュニケーション倫理 [2]	文化記号論 [2]	
		言語コミュニケーション概論 [2]	マスコミュニケーション論 [2]	
		異文化コミュニケーション論 [2]	日本語教育概説 [2]	
	多文化社会とコミュニケーション [2]	放送文化基礎論 [2]		
研究入門	1単位	日本語コミュニケーションスキル I (会話) [1]		
	1単位	日本語ディベート演習 [1]		
文学部共通 専門科目	選択	文芸創作論 [2]	色彩論 [2]	生徒指導及び進路指導 [2]
		レトリック概論 [2]	装いの心理学 [2]	図書館概論 [2]
		言語学概論 [2]	化粧の心理学 [2]	
		芸術論 [2]	教育相談及びカウンセリング [2]	
		造形論 [2]	教育の方法及び技術の研究 [2]	
合計	20単位以上			

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
各論	2単位	日本語コミュニケーション論 II (文章) [2]		
	2単位以上	コミュニケーション地域文化論A [2]	伝承文化とコミュニケーション [2]	
		コミュニケーション地域文化論B [2]	若者コミュニケーション文化論 [2]	
		コミュニケーション地域文化論C [2]	介護福祉コミュニケーション論 [2]	
		コミュニケーション地域文化論D [2]		
		パフォーマンスコミュニケーション論 [2]		
	2単位以上	国際コミュニケーション論 [2]	翻訳論 [2]	
		異文化接触論 [2]	対話技法 [2]	
		地域言語とコミュニケーション [2]	コミュニケーション障害論 [2]	
		日本語教育論 [2]	語用論 [2]	
		比較言語文化論 [2]		
	選択	コミュニケーションシンボル論 [2]	ビジネスコミュニケーション論 [2]	
		造形文化論 [2]	マスコミ言語論 [2]	
		映像コミュニケーション論 [2]	放送文化論 [2]	
		デジタルコミュニケーション論 [2]		
現代コミュニケーション論 [2]				
特殊講義	2単位以上	コミュニケーション文化学特殊講義 [2]		

科目区分	修得要件	授業科目	
特殊演習		英語コミュニケーションスキル [1]	
		日本語教育演習 [1]	
実習	3単位以上	コミュニケーション文化学特殊実習A(アナウンス) [1]	コミュニケーション文化学特殊実習F(手話) [1]
		コミュニケーション文化学特殊実習B(敬語) [1]	コミュニケーション文化学特殊実習G(点字) [1]
		コミュニケーション文化学特殊実習C(広報・デジタル編集) [1]	異文化体験学習 [1]
		コミュニケーション文化学特殊実習D(インタビュー) [1]	
		コミュニケーション文化学特殊実習E(プレゼンテーション) [1]	
演習	2単位	コミュニケーション文化学演習Ⅰ [2]	
	4単位	コミュニケーション文化学演習Ⅱ [4]	
	1単位	日本語コミュニケーションスキルⅡ(文章) [1]	
文学部共通 専門科目	選択	演劇論 [2]	情報文化史 [2]
		言語哲学 [2]	色彩象徴論 [2]
		朗読法 [2]	図書・図書館史 [2]
		非言語コミュニケーション論 [2]	情報サービス演習A[1]
		コミュニケーション心理学 [2]	
合計	46単位以上		

合計修得単位数 66単位以上

5) 文学部臨床心理学科教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目			
総論	2単位	心理学概論 [2]			
	2単位	教育心理学 [2]			
	2単位	人間の行動 [2]			
	2単位	学校心理学概論 [2]			
	選択	2単位	臨床心理学 [2]	社会心理学 [2]	医学概論 [2]
			発達心理学 [2]	健康教育概論 [2]	
認知心理学 [2]			心理学史 [2]		
研究入門	2単位	心理統計 [2]			
実習	2単位以上	心理学基礎実験 [2]			
		心理学臨地実習 [1]			
文学部共通 専門科目	選択	文芸創作論 [2]	色彩論 [2]	生徒指導及び進路指導 [2]	
		レトリック概論 [2]	装いの心理学 [2]	図書館概論 [2]	
		言語学概論 [2]	化粧の心理学 [2]		
		芸術論 [2]	教育相談及びカウンセリング [2]		
		造形論 [2]	教育の方法及び技術の研究 [2]		
合計	20単位以上				

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
各論	24単位以上	健康心理学 [2]	青年期の発達心理学 [2]	心理教育的アセスメント [2]
		視覚と芸術の心理学 [2]	学校臨床心理学 [2]	認知カウンセリング [2]
		思考心理学 [2]	キャリアカウンセリング [2]	LD, ADHDの心理と指導援助 [2]
		言語心理学 [2]	臨床行政論 [2]	精神医学 [2]
		道徳心理学 [2]	障害児(者)の心理と行動 [2]	医療・看護の心理学 [2]
		産業心理学 [2]	知的障害の心理と指導援助 [2]	精神保健福祉論 [2]
		人格心理学 [2]	カウンセリング心理学 [2]	心身医学 [2]
		高齢者の心理学 [2]	家族療法論 [2]	生理心理学 [2]
		犯罪心理学 [2]	健康心理カウンセリング [2]	臨床教育学 [2]
		データ解析 [2]	健康心理アセスメント [2]	職場のメンタルヘルス [2]
		実験計画法 [2]		産業カウンセリング [2]
特殊演習		遊戯・芸術療法 [1]	心理査定法 [1]	
実習	2単位	健康心理アセスメント実習 [2]		
		カウンセリング実習 [2]		
演習	2単位	臨床心理学演習Ⅰ [2]		
	4単位	臨床心理学演習Ⅱ [4]		
文学部共通 専門科目	選択	演劇論 [2]	非言語コミュニケーション論 [2]	色彩象徴論 [2]
		言語哲学 [2]	コミュニケーション心理学 [2]	図書・図書館史 [2]
		朗読法 [2]	情報文化史 [2]	情報サービス演習A[1]
合計	46単位以上			

合計修得単位数 66単位以上

6) マネジメント学部マネジメント学科教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
基幹科目	2単位	企業経営入門 [2]		
	2単位	経済学入門 [2]		
	2単位	公共政策入門 [2]		
	2単位以上	企業会計の基礎 [2]	社会科学と数学 [2]	地方自治総論 [2]
		証券論 [2]	情報システム設計 [2]	文化とまちづくり [2]
		マーケティングの基礎 [2]	民法の基礎 [2]	NPO論 [2]
		起業論 [2]	民法 [2]	アーツマネジメントの基礎 [2]
		人事管理の基礎 [2]	憲法 [2]	アートプロジェクト入門 [2]
		マクロ経済学の基礎 [2]	行政法 [2]	
		ミクロ経済学の基礎 [2]	行政学総論 [2]	
マネジメント学部共通 専門科目	4単位	実践ゼミナール [4]		
	選択	社会科学入門 [2]		
		金融の基礎 [2]		
		サステイナブルマネジメント入門 [2]		
		現代社会を読む [2]		
合計	20単位以上			

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
展開科目	28単位以上	経営史 [2]	日本経済論 [2]	地方自治論 [2]
		経営戦略論 [2]	経済政策 [2]	政策形成と政策評価 [2]
		経営組織論 [2]	産業組織論 [2]	地域政策 [2]
		国際経営論 [2]	国際経済学 [2]	地域活性化論 [2]
		マーケティング論 [2]	データで読み解く日本経済 [2]	アーツマネジメント [2]
		雇用と能力開発 [2]	アジアの経済 [2]	文化の法制度 [2]
		事業戦略概論 [2]	労働経済学 [2]	文化経済学 [2]
		リスクマネジメント論 [2]	公共経済学 [2]	文化政策 [2]
		管理会計概論 [2]	情報処理システム [2]	比較文化政策 [2]
		ベンチャー経営論 [2]	情報処理システム応用 [2]	パフォーマンスアーツと国際コミュニケーション [2]
		オペレーションズ・リサーチ [2]	契約法制総論 [2]	芸術文化とNPO [2]
		社会科学と最適化 [2]	契約法制各論 [2]	企業メセナ・フィランソピー [2]
		コーポレートファイナンス [2]	経営法務 [2]	現代の舞台芸術ビジネス [2]
		投資管理論 [2]	財産権のシステム [2]	広告にみる表現技術 [2]
		ビジネスリーダー論 [2]	企業法制総論 [2]	文化思想と芸術 [2]
		ビジネス倫理 [2]	企業法制各論 [2]	メディア芸術産業論 [2]
		女性のキャリアデザイン [2]	国際化と法 [2]	舞台芸術産業論 [2]
		マクロ経済学 [2]	裁判システム [2]	視覚芸術産業論 [2]
		ミクロ経済学 [2]	行政学各論 [2]	都市デザイン論 [2]
				ライフスタイルとデザイン [2]
演習	*4単位	展開ゼミナール [2]		
卒業論文・卒業研究	選択	卒業論文・卒業研究 [2]		
マネジメント学部共通専門科目	選択	日本の金融システム [2]	日本の財政 [2]	経済統計論2 [2]
合計	46単位以上			

* 2年間にわたり、4単位修得

合計修得単位数 66単位以上

7) マネジメント学部観光マネジメント学科教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
基幹科目	2単位	観光学入門 [2]		
	2単位	観光産業論 [2]		
	4単位以上	観光政策論 [2]	宿泊産業論 [2]	観光文化論 [2]
		国際交通経済学 [2]	観光経営論 [2]	観光情報論 [2]
マネジメント学部共通専門科目	4単位	実践ゼミナール [4]		
	選択	社会科学入門 [2]		
		金融の基礎 [2]		
		サステイナブルマネジメント入門 [2]		
現代社会を読む [2]				
合計	20単位以上			

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
展開科目	28単位以上	観光企画論 [2]	観光と鉄道 [2]	観光倫理学 [2]
		観光メディア論 [2]	観光資源論 [2]	テーマパーク論 [2]
		国際観光政策論 [2]	観光経済学 [2]	ホスピタリティ論 [2]
		観光関連法規 [2]	交通システム論 [2]	エコツーリズム論 [2]
		旅行業法 [2]	航空産業論 [2]	世界遺産研究 [2]
		国際観光交通論 [2]	観光地理学 [2]	観光まちづくり [2]
		各国観光事情 [2]	ホテルマネジメント [2]	旅行情報システム [2]
		観光消費行動論 [2]	国際文化交流論 [2]	観光調査法 [2]
		観光経営者論 [2]	観光人類学 [2]	観光統計解析 [2]
		観光リスクマネジメント [2]	観光と保養 [2]	
		観光投資論 [2]	祭りと文化 [2]	
演習	*4単位	観光マネジメント学演習 [2]		
卒業論文・卒業研究	選択	卒業論文・卒業研究 [2]		
マネジメント学部共通専門科目	選択	日本の金融システム [2]	日本の財政 [2]	経済統計論2 [2]
合計	46単位以上			

* 2年間にわたり、4単位修得

合計修得単位数 66単位以上

8) マネジメント学部生活環境マネジメント学科教育課程

●前期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
基幹科目	2単位	サステイナブルビジネス [2]		
	2単位	環境倫理学 [2]		
	4単位以上	環境行政論 [2]	都市環境論 [2]	家庭経営論 [2]
		自然生命環境論 [2]	居住環境論 [2]	
マネジメント学部共通専門科目	4単位	実践ゼミナール [4]		
	選択	社会科学入門 [2]		
		金融の基礎 [2]		
		サステイナブルマネジメント入門 [2]		
		現代社会を読む [2]		
合計	20単位以上			

●後期課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目		
展開科目	28単位以上	環境思想論 [2]	防災論 [2]	高齢者福祉論 [2]
		環境法学 [2]	庭園と都市環境 [2]	健康管理論 [2]
		環境アセスメント論 [2]	住居管理論 [2]	家族関係論 [2]
		地球環境論 [2]	歴史的環境保全論 [2]	衣服環境論 [2]
		資源・廃棄物論 [2]	住宅政策論 [2]	アパレル流通論 [2]
		エコビジネス論 [2]	居住文化論 [2]	衣服文化論 [2]
		環境経済学 [2]	消費経済論 [2]	食生活環境論 [2]
		地域経営論 [2]	資産運用論 [2]	食文化論 [2]
		タウンマネジメント [2]	社会福祉論 [2]	フードデザイン論 [2]
		都市計画論 [2]	社会保障論 [2]	食品流通論 [2]
演習	*4単位	生活環境マネジメント学演習 [2]		
卒業論文・卒業研究	選択	卒業論文・卒業研究 [2]		
マネジメント学部共通専門科目	選択	日本の金融システム [2]	日本の財政 [2]	経済統計論2 [2]
合計	46単位以上			

* 2年間にわたり、4単位修得

合計修得単位数 66単位以上

9) 人文科学研究科 日本文化専攻教育課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目	配当年次
必修科目	2	日本思想通論 [2]	1年
	2	日本芸術通論 [2]	1年
	2	民俗学通論 [2]	1年
	2	日本社会史通論 [2]	1年
	2	日本文学通論 [2]	1年
	8	日本文化演習 [4]	1・2年
選択科目	12単位以上	日本思想特論 [2]	1・2年
		日本思想史特論 [2]	1・2年
		東洋思想特論 [2]	1・2年
		日本芸術特論 [2]	1・2年
		日本美術史特論 [2]	1・2年
		日本芸能特論 [2]	1・2年
		民俗学特論 [2]	1・2年
		女性史特論 [2]	1・2年
		日本社会史特論 [2]	1・2年
		文化人類学特論 [2]	1・2年
		日本文学特論 [2]	1・2年
		日本文学史特論 [2]	1・2年
比較文化特論 [2]	1・2年		
合計	30単位以上		

10) 人文科学研究科 臨床心理学専攻教育課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目	配当年次
必修科目	4	臨床心理学特論 [4]	1年
	4	臨床心理面接特論 [4]	1年
	4	臨床心理査定演習 [4]	1年
	2	臨床心理基礎実習 [2]	1年
	2	臨床心理実習 [2]	2年
	2	臨床心理特別実習 [2]	2年
	4	臨床心理学演習 [4]	2年
選択科目	8単位以上	心理統計法特論 [2]	1・2年
		臨床心理学研究法特論 [2]	1・2年
		発達心理学特論 [2]	1・2年
		学習心理学特論 [2]	1・2年
		家族心理学特論 [2]	1・2年
		犯罪心理学特論 [2]	1・2年
		臨床心理関連行政論 [2]	1・2年
		精神医学特論 [2]	1・2年
		老年心理学特論 [2]	1・2年
		障害者(児)心理学特論 [2]	1・2年
		投映法特論 [2]	1・2年
		心理療法特論 [2]	1・2年
		学校臨床心理学特論 [2]	1・2年
グループ・アプローチ特論 [2]	1・2年		
合計	30単位以上		

11) マネジメント研究科 マネジメント専攻教育課程

[] 内は単位数

科目区分	修得要件	授業科目	配当年次
通論科目	2単位	リスクマネジメント通論 [2]	1年
特論科目	6単位以上	企業経営管理特論 [2]	1・2年
		人事マネジメント特論 [2]	1・2年
		国際経営特論 [2]	1・2年
		環境管理特論 [2]	1・2年
		公共経営管理特論 [2]	1・2年
		リスクマネジメント法制特論 [2]	1・2年
		財務マネジメント特論 [2]	1・2年
		広報マネジメント特論 [2]	1・2年
		経済予測特論 [2]	1・2年
		キャリアデザイン支援特論 [2]	1・2年
	観光経営特論 [2]	1・2年	
	6単位以上	保健福祉特論 [2]	1・2年
		都市環境特論 [2]	1・2年
		少子高齢化社会特論 [2]	1・2年
		消費者保護特論 [2]	1・2年
		消費生活環境特論 [2]	1・2年
		文化政策特論 [2]	1・2年
		社会参加特論 [2]	1・2年
		文化財環境特論 [2]	1・2年
	博物館経営管理特論 [2]	1・2年	
演習科目	8単位	マネジメント演習 [4]	1・2年
合計	30単位以上		

(5) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

学部・研究科等	学科	修業 年限	必要修得 単位数	科目区分ごとの		取得可能な学位及び 専攻名称
				必修	選択	
文学部	人文学科	4	124	25	99	学士（人文学）
	現代文化表現学科	4	124	23	101	学士（文化表現学）
	コミュニケーション文化学科	4	124	32	92	学士（コミュニケーション文化学）
	臨床心理学科	4	124	35	89	学士（臨床心理学）
マネジメント学部	マネジメント学科	4	124	29	95	学士（マネジメント学）
	観光マネジメント学科	4	124	27	97	学士（マネジメント学）
	生活環境マネジメント学科	4	124	27	97	学士（マネジメント学）
人文科学研究科	日本文化専攻	2	30	14	16	修士（人文学）
	臨床心理学専攻	2	30	22	8	修士（臨床心理学）
マネジメント研究科	マネジメント専攻	2	30	6	24	修士（マネジメント学）

(6) 学修環境に関する情報

大学等	キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
跡見学園 女子大学	文京キャンパス	文学部（3,4年） マネジメント学部（3,4年） マネジメント研究科	〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2 TEL.03-3941-7420	丸ノ内線 茗荷谷駅より徒歩2分 有楽町線 護国寺駅より徒歩8分
		【キャンパス概要】 大学1号館、2号館、3号館、文京図書館、ATOMI Blossom Hall、学生食堂		
	新座キャンパス	文学部（1,2年） マネジメント学部（1,2年） 人文科学研究科	〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL.048-478-3333	JR武蔵野線 新座駅よりバス7分 東武東上線 志木駅より西武バス15分
【キャンパス概要】 1号館、2号館、3号館、4号館、新座図書館、花蹊記念資料館、花蹊メモリアルホール、グリーンホール、学生食堂				
【課外活動の状況】 クラブ・サークル活動 体育系) 競技ダンス部、硬式テニス部、体育会チアリーディング部、体育会ラクロス部、軟式野球部、ハイキング部 文化系) 跡見ウィンドオーケストラ部、演劇部、合唱団、華道部、軽音楽部、広告研究部、紅茶クラブ、サイコロ倶楽部、茶道部、写真部、書道部、心理学検定部、美術部、文学研究部、放送文化研究部、ボランティアサークルさくら、漫画研究部、マンドリンクラブ、焼き物研究部 学生会本部、紫祭実行委員会、跡見学園女子大学防犯リーダー				

(7) 学生納付金に関する情報

大学等	学部・研究科等	授業料		入学金		その他の費用徴収	
		金額	納入時期	金額	納入時期	金額	納入時期
跡見学園女子大学	文学部	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	300,000円	入学手続時	107,000円 95,000円	4月末日 10月末日
		*授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を越えた場合は適用しない。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。教授会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。教授会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。					
跡見学園女子大学	マネジメント学部	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	300,000円	入学手続時	107,000円 95,000円	4月末日 10月末日
		*授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を越えた場合は適用しない。 *入学時にオリエンテーション費用を別途徴収する。(平成25年度実績17,000円) 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。教授会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。教授会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。					
跡見学園女子大学大学院	人文科学研究科	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	270,000円	入学手続時	92,000円 80,000円	4月末日 10月末日
	マネジメント研究科	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	270,000円	入学手続時	92,000円 80,000円	4月末日 10月末日
		*授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を越えた場合は適用しない。 *跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。					
		*授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を越えた場合は適用しない。 *跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件 ①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。 ②留学規程に基づく在学留学生への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。 ③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。 ・必要手続等 ①休学願いの提出。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ②留学規程に基づく申請。研究科委員会審議を経て学長が許可。 ③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。					

大学等	学部・研究科等	授業料		入学金		その他の費用徴収	
		金額	納入時期	金額	納入時期	金額	納入時期
跡見学園 高等学校	普通科	267,000円 267,000円	4月末日 10月末日	250,000円	入学手続時	100,000円 169,100円	入学手続時 4月末日
		*上記その他徴収費用金額は第1学年（生徒預り金を含む）。 *その他徴収費用における第2学年は259,800円、第3学年は230,500円を4月末日に納入（生徒預り金を含む）。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件なし。 ・必要手続等なし。					
跡見学園 中学校		275,000円 275,000円	4月末日 9月末日	250,000円	入学手続時	200,000円 139,900円	入学手続時 4月末日
		*上記その他徴収費用金額は第1学年（生徒預り金を含む）。 *その他徴収費用における第2学年は226,900円、第3学年は267,900円を4月末日に納入（生徒預り金を含む）。 【授業料減免制度の概要】 ・減免対象の種類、要件なし。 ・必要手続等なし。					

(8) 学生支援と奨学金に関する情報

支援項目	組織名	機能
就職支援	就職部 就職課	・学生の就職指導及び相談
		・就職のための学生の選考及び推薦
		・就職の資料作成、情報収集及び調査
		・インターンシップに関する事務
		・その他
進学支援	就職部 就職課	・他大学大学院への進学に関する相談
	入試部 入試課	・跡見学園女子大学大学院への進学に関する事務
履修支援	学務部 教務課	・履修オリエンテーション及びガイダンスの実施
	アカデミック・ アドバイザー	個々の学生の問題意識を顕在化させ、履修意欲を明確化させるための指導援助を行い、その学生に最適のコースの組み合わせを選択させ、あるいは個々の学生に固有のカリキュラムを幅広く解放された授業科目群の中から設計するに当たっての指導援助を行う。
生活支援	学務部 学生課	・学生の生活相談及び厚生補導
		・学生会活動及び課外活動の指導・助言
		・寮、下宿及び受験生の宿舍の斡旋
		・学生寮、合宿舎の管理運営及び合宿生の生活指導
		・学生食堂、学内売店等の管理
		・アルバイトの指導斡旋
経済支援	学務部 学生課	・奨学金に関する事務
保健・衛生・メンタルヘルス等	学務部 学生課 保健センター	・学生の定期健康診断の実施
		・学生の健康相談
		・保健・環境衛生に関わる知識の普及
		・応急処置
		・カウンセリング
		・その他

<奨学金>

1) 学業奨励賞

名称	概要
跡見花蹊記念奨学金	<p>跡見花蹊記念奨学金は本学に在学する特に優秀な成績を修めた学生に対し、これを表彰し、奨学金を給付するものです。</p> <p>*選考 各学科・各研究科、学年ごとの前年度学業成績上位者</p> <p>*対象 学部2～4年生、大学院2年生</p> <p>*給付額 大学の授業料の一学期分相当額</p> <p>*発表の時期 6月</p> <p>*返還 なし</p> <p>*その他 他の奨学金との重複受給は妨げない。</p>
跡見校友会一紫会大学院奨学金	<p>跡見校友会一紫会大学院奨学金は大学院に在学する優秀な成績を修めた学生に対し、これを表彰し、奨学金を給付するものです。</p> <p>*選考 各専攻の前年度の学業成績上位者</p> <p>*対象 2年生</p> <p>*給付額 授業料の一学期分の二分の一相当額</p> <p>*給付回数 1年間1回</p> <p>*返還 なし</p> <p>*その他 跡見花蹊記念奨学金との重複受給は不可。 その他の奨学金との併願は可。</p>

2) 修学援助奨学金

修学援助奨学金	概要
跡見学園女子大学 後援会修学援助奨学金	<p>跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金は跡見学園後援会からの補助金により、経済上の理由で学業の継続が困難な学部生に対し、学費援助を目的として給付するものです。</p> <p>*募集時期 5月・10月(年2回)</p> <p>*対象 1年次秋学期以降に在籍している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ修学の見込みがあると認められる者</p> <p>第一種奨学金 (1) 主たる家計支持者の死亡、失職、病気、事故その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2) 天災その他の災害により、学費の納入ができない場合</p> <p>第二種奨学金 (1) 恒常的低収入その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2) 学費納入ができない特段の事情がある場合</p> <p>*給付額 第一種奨学金 大学の授業料の一学期分 第二種奨学金 大学の授業料の一学期分の半額</p> <p>*給付回数 第一種奨学金 原則1回のみ 第二種奨学金 原則2回まで</p> <p>*返還 なし</p> <p>*併願 他の奨学金との重複受給は妨げない。ただし、跡見校友会一紫会修学援助奨学金と同年度に重複して受給できない。</p>

修学援助奨学金	概要
跡見校友会一紫会修学援助奨学金	<p>跡見校友会一紫会修学援助奨学金は、本学校友会「一紫会」が経済上の理由で学業の継続が困難な学部生に対し、学費援助を目的として給付するものです。</p> <p>*募集時期 10月（年1回）</p> <p>*対象 2年次春学期以降に在籍している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ修学の見込みがあると認められる者</p> <p>第一種奨学金 (1) 主たる家計支持者の死亡、失職、病気、事故その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2) 天災その他の災害により、学費の納入ができない場合</p> <p>第二種奨学金 (1) 恒常的低収入その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2) 学費納入ができない特段の事情がある場合</p> <p>*給付額 第一種奨学金 大学の授業料の一学期分 第二種奨学金 大学の授業料の一学期分の半額</p> <p>*給付回数 第一種奨学金 原則1回のみ 第二種奨学金 原則2回まで</p> <p>*返還 なし</p> <p>*併願 他の奨学金との重複受給は妨げない。ただし、跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金と同年度に重複して受給できない。</p>
日本学生支援機構奨学金	<p>日本学生支援機構奨学金は、独立行政法人日本学生支援機構が教育の機会均等を図り、社会に有用な人材を育成することを目的として、人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由のため修学困難な学生に対し学資を貸与する奨学金制度です。返還時、無利子の「第一種」と有利子の「第二種」の2種類があります。事務取扱窓口は学生課です。</p> <p>〈推薦基準〉 (1) 経済的理由により修学が著しく困難な者。 (2) 健康で態度・行動が良好である者。 (3) 学業水準が日本学生支援機構の定める基準を超えている者。</p> <p>〈備考〉 (1) 申込者全員が採用される訳ではありません。 (2) 家計支持者の失職、死亡または火災などによる家計急変のため緊急に奨学金が必要となった場合の採用もあります。</p>
地方自治体の奨学金・ その他の奨学金	<p>都道府県及び市区町村では地元出身者の育英奨学のために各種の奨学金制度を設けています。その他にも各種の公私の団体による奨学金制度もあります。</p>

(2) 女子大学の実績

() 印は平成24年度事業計画事業)

(1) 教育研究関係

1) 学部等の改革 ()

①平成22年度設置学科とその経過 ()

イ) 文学部 現代文化表現学科

文学部現代文化表現学科を平成22年度に開設し、初年度は114名の1年生を迎えた。2年目となる23年度は116名、3年目となる24年度は118名の1年生を迎えた。

ロ) マネジメント学部 観光マネジメント学科

マネジメント学部観光マネジメント学科を平成22年度に開設し、初年度は108名の1年生を迎えた。2年目となる23年度は107名、3年目となる24年度は110名の1年生を迎えた。

②新たな教育課程の準備 ()

イ) 既存学部学科教育課程の検討 ()

既存学部学科教育課程検討委員会の答申に基づき、全学学務委員会及び全学共通科目運営センターにおいて検討された。当初、新教育課程は平成26年度開始の予定であったが、途中、開始時期の変更があり、平成27年度の開始に向けて検討をすることになった。

ロ) 新学部学科構想の検討 ()

平成27年度に向けて「新学部設置検討委員会」において検討を重ねている。

2) 諸規程の点検・整備 ()

「跡見学園女子大学カウンセリング実習倫理綱領」「跡見学園女子大学学位規程」「跡見学園女子大学情報セキュリティ委員会規程」「跡見学園女子大学附属心理教育相談所規程」「他の大学等における履修、大学以外における学修及び入学前の既修得単位等の認定に関する規程」について、改正を行った。「卒業論文・卒業研究規程」について、平成22年度入学者より適用する規程を制定した。また、「跡見学園女子大学情報セキュリティポリシー」を新たに制定した。

3) カリキュラムの点検 ()

①平成22年度カリキュラムの点検

「既存学部学科教育課程検討委員会」において、現行カリキュラムの点検、評価を行った。

②平成24年度教職課程認定大学等実地視察について

平成24年6月6日、新座キャンパスにおいて、文部科学省及び視察委員による本学の教職課程に対する実地視察が行われた。視察結果に基づく講評において、「…大学全体としての教職課程の実施・指導体制の整備・強化が望まれる。」と指摘されたことを踏まえ、教職課程全体の方針及び教職課程に係るカリキュラム等について全学的な視点から検討・実施する会議体を設置するとの方針を決定し、その実現のため、関連規程の改正に着手した。

4) 教育研究支援 ()

①教員評価結果の検証 ()

評価シートの作成や評価対象となる業績内容の精査を行い、「教員の自己点検評価シート」を完成させ、シートへの記入を行った。結果については全学自己点検・評価委員会にて検証が行われた。

②教育研究支援体制の充実 ()

イ) 跡見英会話サロン (3年目)

英語の授業で英会話スキルを修得した学生や夏期海外語学研修に参加した学生に対して、その後も大学内でそのスキルを実践する場を大学として提供するため、ベルリッツ・ジャパン(株)との業務委託により「跡見英会話サロン」を開設し、学生に広く活用された。

③FD活動の継続実施 ()

全学教育・研究支援委員会、全学共通科目運営センター、学部においてFD研修会・FD講習会等を継続的に実施した。また、FD実践報告集として『FDジャーナル』（第11号）の編集作業を行った。

④学外研究費の獲得 (🌸)

平成24年度科学研究費助成事業（日本学術振興会）

	学部 職名	氏名	研究種目	研究期間	H24	研究課題名
					直接経費	
新規	人文 助教	阿部一哉	若手研究 (B)	H24-25 (2年間)	1,400,000円	日独「句例」対訳データベースの構築
	生活環境 マネジメント 助教	内村理奈	基盤研究 (C)	H24-26 (3年間)	1,300,000円	近世・近代フランスの服装規範にみられるジェンダー観
継続	人文 助教	酒井智宏	若手研究 (B)	H22-24 (3年間)	800,000円	意味排除主義と自然言語の規範性に関する研究
	臨床心理 教授	中野敬子	基盤研究 (C)	H22-24 (3年間)	500,000円	認知行動療法を用いたインターネットによる予防的ストレス対処プログラムの開発
	臨床心理 准教授	酒井佳永	若手研究 (B)	H22-24 (3年間)	900,000円	うつ病休職者の同居家族における負担と家族の支援に関する研究
	マネジメント 准教授	丹野忠晋	基盤研究 (C)	H21-24 (4年間)	500,000円	入札談合の経済分析
	臨床心理 教授	山口豊一	基盤研究 (C) (一般)	H23-25 (3年間)	1,200,000円	学校コミュニティでスクールカウンセラー等の心理職を活用するためのシステムの開発
	マネジメント 准教授	禿あや美	若手研究 (B)	H23-25 (3年間)	900,000円	小売業における職務分析・職務評価手法を用いたデータによる実現可能な均等待遇の検証
	マネジメント 助教	山下 奨	若手研究 (B)	H23-25 (3年間)	660,000円	キャッシュフローの配分計算としての会計上の利益計算と企業結合会計における測定問題

平成24年度（第37回）学術研究振興資金（日本私立学校振興・共済事業団）

	学部 職名	氏名	H24	研究課題名
			交付額 (研究費総額)	
継続	生活環境 マネジメント 教授	宮崎正浩	300,000円 (1,036,000円)	生物多様性に配慮したサプライチェーンマネジメント

平成24年度環境経済の政策研究（環境省）

	学部 職名	氏名	研究期間	H24	研究課題名
				研究費	
新規	生活環境 マネジメント 助教	井口 衡	H24-26	692,144円	新たな市場メカニズムの国際比較及び二国間オフセット・クレジットメカニズムの排出削減効果等の分析

5) 学生支援 (🌸)

①学生会による学長と語る会の実施

平成24年6月20日（水）、13時より新座キャンパス及び文京キャンパス（中継）にて開催され、「語学授業のクラス分けに関して」「履修登録の改定に関して」「人気講座の春・秋学期での開講に関して」等、要望が出された。

②一紫会による修学援助奨学金の継続

イ) 一紫会による修学援助奨学金の継続 

	申請者	採用者
第一種	3	0
第二種	27	6

ロ) 後援会による奨学金の継続 

春学期

	申請者	採用者
第一種	3	3
第二種	25	22

秋学期

	申請者	採用者
第一種	6	5
第二種	42	28

一紫会ならびに後援会修学援助奨学金申請者のうち採用されなかった学生は、

春学期 第1種 0名 第2種 3名

秋学期 第1種 1名 第2種 16名であった。

③東日本大震災にかかる授業料減免措置

東日本大震災で被害を受けた22名の学生に対し授業料減免措置をした。

④就職支援体制の全学的取り組み 

昨年度に引き続き、筆記試験対策の充実化とキャリアカウンセラーの配置に加え、4年生内定者による3年生サポート窓口「就活サポーターズ」の開設並びに4年生専用の就職活動相談窓口「Career CAFE」を開設した。

⑤防災関係

学生配布用「大地震対応マニュアル」を作成した。(平成24年度全学生に配布)

6) ステークホルダーとしての保護者サービス 

①前年度に引き続き、「保護者説明会」を5会場で実施した。

イ) 学外会場

・高崎会場

開催日 平成24年8月25日(土)

会場 ホテルメトロポリタン高崎

参加者数 26名

・新潟会場

開催日 平成24年8月26日(日)

会場 ホテルオークラ新潟

参加者数 6名

・宇都宮会場

開催日 平成24年9月1日(土)

会場 チサンホテル宇都宮

参加者数 21名

・仙台会場

開催日 平成24年9月2日(日)

会場 江陽グランドホテル

参加者数 12名

ロ) 学内会場

開催日 平成24年10月20日(土)

会場 文京キャンパス2号館

参加者数 393名

②就職課の主催により3年生の保護者を対象とする「保護者のための就職セミナー」を開催した。

開催日 平成24年9月15日(土)

会場 文京キャンパスブロッサムホール

参加者数 175名

7) 学園140周年、大学50周年記念行事の準備〈❁〉

①大学50年史の刊行準備〈❁〉

平成25年度に「50周年準備室」を設置することを決めた。また、「大学50周年史編集委員会」を設置し、刊行準備に取りかかることとなった。

8) 学術・学会等関係(主な大会の開催等)

文京キャンパスの利便性の良さと良好な施設・設備が学術学会、団体等に支持され、多くの大会等が開催された。

主な学会等

①日本教育カウンセリング学会 定期公開講演会が5月20日に開催された。(約150名参加)

②日本スクールカウンセリング協議会が8月26日(日)、10月14日(日)、12月2日(日)に開催された。(各回 約200名参加)

③日本産業カウンセリング学会 第17回大会が11月3日～4日(土～日)に開催された。(約400名参加)

④21世紀社会デザイン研究学会2012年度年次大会が12月1日～2日(土～日)に開催された。(約200名参加)

⑤日本学校心理士会東京支部研修会が3月9日(土)に開催された。(約200名参加)

⑥日本民俗学会が3月10日(日)に開催された。(約200名参加)

⑦環境経営学会 中小企業環境経営セミナーが3月16日(土)に開催された。(約150名参加)

また、本学主催・後援によるシンポジウムや講演会も多数開催された。

①マネジメント学部創設10周年記念シンポジウム「ネクストジャパン 日本復興計画を考える」が6月2日(土)に開催された。

②10月13日(土)には文京区との共催により、朗読コンテストが開催された。

③3月20日(水・祝)には、会津復興支援シンポジウム「『新島八重と跡見花隠』～幕末から明治を駆け抜けた女性～」が開催された。

④本学の後援により、東日本大震災孤児支援プロジェクト・文京 主催による薬師寺管主山田法胤師による講演会「生きる喜びを伝えたい」が9月13日(木)に開催された。

(2) 管理・運営〈❁〉

1) 大学管理・運営の点検・整備〈❁〉

職員組織におけるガバナンスを徹底させるために、課長会を定例開催。大学入職4年目までの職員に研修を実施した。

2) 事務組織の点検に基づく将来構想〈❁〉

大学の施設管理を、法人施設管理課に集約し、大学に分室を置いた。

(3) デュアル・キャンパスのあり方の検討〈❁〉

1) 1～2年生が新座キャンパス、3～4年生が文京キャンパスという教育課程のあり方の再検討に着手し、文京キャンパスの一層の整備を見据え、さしあたり先導的試行として、心理教育相談所分室を文京に設置した。

(4) 広報・学生募集

1) 学部学科理念の確認〈❁〉

大学全体及び各学部の教育目標について再確認を行い、これを「跡見学園女子大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「文学部 学位授与の方針」及び「マネジメント学部 学位授与の方針」としてまとめ、大学のホームページに掲載した。

併せて、これらを実現するための方策としての教育課程の編成方針についても再確認を行い、「跡見学園女子大学 カリキュラム編成の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「跡見学園女子大学文学部 カリキュラム編成の方針」及び「跡見学園女子大学マネジメント学部 カリキュラム編成の方針」としてまとめ、大学のホームページに掲載した。

2) 入学試験制度の再検討〈❁〉

①AO入学試験制度の整理・統合

②指定校推薦入学制度における指定校の見直し

③一般入学試験各方式間の募集人員の適正化

(5) 学外団体との交流〈❁〉

1) 国内

①マネジメント研究科と立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科との協定継続〈❁〉

両大学院研究科の間で締結した単位互換制度にもとづき単位互換を行った。

②埼玉県私立大学連絡協議会の継続

埼玉県私立大学連絡協議会の諸活動を通じて、埼玉県及び県内大学との交流を推進した。

③彩の国大学コンソーシアムの継続〈❁〉

「単位互換分科会」、「公開講座分科会」に継続して所属。

イ) 2012年彩の国大学コンソーシアム公開講座 ～知的、快適生活のススメ～

平成24年9月29日（土） 15：10～16：30

於：川越メルト

演 題 「逆転の日本力ー日本復権への挑戦ー」

講 師 マネジメント学部マネジメント学科 福田優二 教授

受講者数 77名

ロ) 事務職員研修会

平成24年度は実施せず。

ハ) 公開講座分科会

平成24年12月5日（水） 於：城西大学

ニ) 学長会

平成25年3月25日（月） 於：氷川会館（川越市）

ホ) 実務者会

平成24年12月5日（水） 於：城西大学坂戸キャンパス

平成25年3月25日（木） 於：氷川会館（川越市）

ヘ) 単位互換制度

平成24年度は希望者なし。

④文京区内大学との交流〈❁〉

お茶の水女子大学と相互利用に関する覚書を結び、図書館を相互利用している。(平成21年4月から継続)

⑤埼玉県内大学との交流〈❁〉

十文字学園女子大学図書館情報センターと図書館の相互利用に関する覚書を結んだ。(実施は平成24年4月から)

⑥高等学校との交流（高大連携への対応）〈❁〉

高等学校での出張講義を13校で実施した。

2) 国外

①夏期語学研修による海外の大学との交流 〈❁〉

国際交流の一環として、引き続き海外（語学）研修を実施した。

・北京語言大学（中国）

期 間 平成24年 8月5日（日）～8月30日（木）

参加者 8名

・英国国立スターリング大学（イギリス）

期 間 平成24年 8月5日（日）～9月5日（水）

参加者 41名

②上記以外の海外大学との交流 〈❁〉

・日中国際文化交流

本交流事業は、学生を広州美術学院へ派遣する予定であったが、諸般の事情により中止となった。なお、書法・絵画・研究発表の優秀賞・入賞に選出された学生に対し表彰を行った。

(6) 地域との交流・地域貢献 〈❁〉

1) 文京区との提携 〈❁〉

平成24年9月7日に文京区と「災害時における母子救護所の提供に関する協定」を締結した。

2) 新座市との提携 〈❁〉

平成24年12月19日に新座市と「災害時における施設の使用に関する覚書」を締結した。

3) 文京アカデミア講座（大学キャンパス講座の実施）

平成23年度から、地域社会（東京都文京区）とのいっそうの連携を図る観点から、（公益財団法人）文京アカデミアが主催する「文京アカデミア講座」（大学キャンパス講座）に下記の通り参加した。

①文京アカデミア講座（前期）

開催日 平成24年 5月25日～6月22日 毎週金曜日 [全5回]

場 所 文京キャンパス M1201視聴覚ホール

テーマ 「西洋近代美術の輝き～モネからクリムトまで～」

講 師 文学部人文学科 村田 宏 教授

②文京アカデミア講座（前期）

開催日 平成24年 5月26日～7月7日 隔週土曜日 [全5回]

場 所 文京キャンパス M2302教室

テーマ 「サステイナブルなマネジメント～地球環境を持続させる豊かな生活とは～」

講 師 マネジメント学部生活環境マネジメント学科 石渡尚子 教授

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 村田あが 教授

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 宮崎正浩 教授

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 吉村英子 教授

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 内村理奈 助教

③文京アカデミア講座（後期）

開催日 平成24年11月10日～12月8日 毎週土曜日 [全4回]

場 所 文京キャンパス M2302教室

テーマ 「元気に生きるための心理学」

講 師 文学部臨床心理学科 宮崎圭子 教授

文学部臨床心理学科 山口豊一 教授

文学部臨床心理学科 野島一彦 教授

文学部臨床心理学科 松寄くみ子 教授

④文京アカデミア講座（後期）

開催日 平成24年11月8日～12月6日 毎週木曜日 [全5回]

場 所 文京キャンパス M2302教室

テーマ 「ディズニールランド大研究」

講 師 マネジメント学部マネジメント学科 山澤成康 教授

マネジメント学部観光マネジメント学科 小川 功 教授

マネジメント学部マネジメント学科 福田優二 教授

山田裕子 兼任講師

4) 茗荷谷図書館の文京区民への開放

平成24年度も継続して実施している。(平成22年度より実施)

5) 花蹊記念資料館の開放

平成24年度は172日間、花蹊記念資料館を一般開放し、一般観覧者に展示物の鑑賞、資料の閲覧貸出、刊行物の頒布等を行った。

6) 新座キャンパスの開放

平成24年3月1日～5月15日、土日祝日を含む76日間、新座キャンパスを桜見学のために一般開放し、1,068名が来場した。一般参加者に桜ガイドを配布した。

7) 「子ども大学にいざ」への参加

新座市と連携し、同市在住の小学生を対象とした「子ども大学にいざ」の企画に参加。全5回中、第3回と第4回を下記のとおり本学新座キャンパスにおいて実施した。

第3回 開催日 平成24年10月20日（土）

テーマ 「再生紙を作ろう」

講 師 マネジメント学部生活環境マネジメント学科 宮崎正浩 教授

第4回 開催日 平成24年11月10日（土）

テーマ 「体験！百人一首～こころの歌をよむ～」

講 師 文学部人文学科 植田恭代 准教授

8) その他の提携

①平成24年7月25日に福島県会津若松市と「学校法人跡見学園 跡見学園女子大学と会津若松市とのパートナーシップ協定」を締結した。締結記念として、本学より同市へ桜の苗木5本を寄贈した。平成25年1月には観光マネジメント学科の学生が協力し、株式会社日本旅行より女子大生の視点を活かした旅行商品が販売された。

②平成24年11月22日、埼玉県和光市と「和光市と学校法人跡見学園 跡見学園女子大学との相互協力に関する包括協定」を締結した。

(7) 点検評価 (🌸)

1) 大学基準協会による評価に基づく改善 (🌸)

大学基準協会からの指摘に対して、改善報告書を作成し提出した。改善例は以下の通りである。

①教育理念の入試ガイドへの記載がないことについて、平成24年度（平成25年度入試ガイド）に掲載することを得た。

②文学部臨床心理学科の「実習生倫理綱領」について、被験者に対する配慮に関する具体的な記述が不十分であったため、改正した。

③シラバスの記載の改善については、シラバス記入時に配布するマニュアルの整備を行い、全教員に周知徹底した。今後は、より正確な記載を目指し、平成26年度を目途に現行のシラバスの記載事項の適切性を再検討する。

④修士論文の審査基準が示されていないことについて、両研究科において協議・検討を進め「跡見学

園女子大学修士論文審査基準」を策定した。

⑤副学長の職務権限が大学運営全体にわたっている点について、中期的な視点から検討を加える予定である。

2) 平成27年度大学評価に対する対応指針の策定準備 

平成27年度大学評価に対する対応指針の策定について準備をしている。

(8) 図書館

1) 跡見学園女子大学の「百人一首コレクション」は、小倉百人一首から異種百人一首まで2,700点以上の資料を有し、貴重な写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六、研究書など幅広いものであることから、1977年に国立国会図書館の『特殊コレクション要覧』に加えられ、一般にも日本有数のものとしての評価を得ている。

平成20年、これを保存環境の良好な新座図書館「特別資料室」に移し、「デジタル・アーカイブ化」にも着手した。デジタル・アーカイブ化したコンテンツを、大学ホームページを通じ公開している。平成21、22年度には内容の増補改訂を行い、平成23年度には、デジタル・アーカイブを基に画像データベースを作成し、同じく大学ホームページを通じ公開している。また平成23年度より特別資料費で購入した百人一首と跡見花蹊の新収資料展を開催している。平成24年度は、2度の新収資料展を開催した。

(9) 花蹊記念資料館

1) 企画展

平成24年 4月3日（火）～5月31日（木）

第一展示室＝学園創立者跡見花蹊の横顔

第二展示室＝「桜の本と標本展」（花蹊記念資料館・図書館共催企画）

平成24年 6月16日（土）～7月31日（火）・8月18日（土）

第一展示室＝第4回 アトミアート展

第二展示室＝花蹊記念資料館コレクション展第1期

展示ギャラリー＝公開制作・ワークショップ

平成24年 9月26日（水）～11月4日（日）

第一展示室＝跡見 廉書会 第6回OG作品展

第二展示室＝花蹊記念資料館コレクション展第2期

平成24年 11月21日（水）～12月22日（土）

第一展示室＝中国宋代絵画展－原寸大複製による－

第二展示室＝花蹊記念資料館コレクション展第3期

平成25年 1月22日（火）～2月4日（月）

博物館実習生による模擬展示

平成25年 3月21日（木）～3月30日（土）

学園創立者跡見花蹊の横顔

小企画＝桜まつりにあわせて

新コレクション展2013

ワークショップ

(10) ATOMIアカデミック・インターンシップ

マネジメント学部の2年生、実践ゼミナール受講者400名が参加した。マネジメント学部は『アカデミック・インターンシップ2012 総括報告書』を作成した。

(11) 公開講座

一般者を対象として、次のとおり実施した。

1) 春学期（新座キャンパス）**①教養コース**

「ストレスと上手に付き合う」

平成24年5月19日～6月2日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 164名

②パソコンコース「分かりやすいホームページを作ろう!」

平成24年4月28日（土）・5月12日（土）[2週1講座]

受講者数 38名

③語学コース「英会話・中国語会話」

平成24年5月12日～7月14日 毎週土曜日 [全10回]

受講者数（各クラス合計） 英会話46名 中国語会話24名

2) 春学期（文京キャンパス）**①教養コース「日本のマネジメント力を高める」**

平成24年6月9日～6月23日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 84名

3) 秋学期（新座キャンパス）**①教養コース「最新技術が社会を変える」**

平成24年10月13日～10月27日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 97名

②パソコンコース「Excel入門」[2週連続1講座]

平成24年9月29日（土）・10月6日（土）

受講者数 38名

③語学コース「英会話・中国語会話」

平成24年10月6日～12月15日（11月3日除く）毎週土曜日 [全10回]

受講者数（各クラス合計） 英会話50名 中国語会話27名

4) 秋学期（文京キャンパス）**①教養コース「映画の中の人間像—愛、歌そしてモード—」**

平成24年11月10日～11月24日 毎週土曜日 [全3回]

受講者数 101名

(12) 講演会・講習会**1) 全学共通科目運営センター****①FD講演会**

日時 平成24年10月31日（水）14：40～16：10

場所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ 「21世紀型教育とICT利活用教育について」

講演者 竹元賢治氏（インテル株式会社イノベーション事業本部 教育事業統括部 教育事業開発部長）

日時 平成25年2月27日（水）14：40～16：10

場所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ 「大学におけるキャリア教育～就業力育成に取り組む現場から」

講演者 保井隆之氏（読売新聞東京本社 編集局 教育ルネサンス取材班記者）

2) 文学部

①FDワークショップ

日 時 平成24年10月24日 (水) 13:00~14:30
 場 所 新座キャンパス2282教室
 テーマ 「演習科目の運営と指導法」
 発表者 藤澤伸介教授、植田恭代准教授、横山太郎准教授

3) マネジメント学部

①第1回マネジメント学部FD講演会

日 時 平成24年7月4日 (水) 10:40~12:10
 場 所 新座キャンパス図書館第二閲覧室
 テーマ 「FDワークショップ (インターンシップについて)」
 講 師 芝原脩次教授、齋田統准教授、鳳咲子准教授、篠原靖准教授

②第2回マネジメント学部FD講演会

日 時 平成25年2月6日 (水) 10:40~12:10
 場 所 新座キャンパス図書館第二閲覧室
 テーマ 「キャリアデザイン講演会について」
 講 師 石渡尚子教授
 テーマ 「アカデミア (春学期初頭の合宿オリエンテーション) について」
 講 師 崔勝溟教授
 テーマ 「学部発表会 (秋学期初めの展開ゼミ・演習の発表会・ゼミ説明会) について」
 講 師 内村理奈准教授

4) 人文科学研究科日本文化専攻

①異文化交流フォーラム

第1回

日 時 平成24年6月30日 (土) 15:00~17:30
 場 所 文京キャンパス2号館 M2308教室
 発表テーマ 【日本を考えるー韓国と中国の視点から】
 講 師 姜政模氏 (成城大学大学院文学研究科)
 向麗君氏 (同上)

第2回

日 時 平成24年11月17日 (土) 15:00~17:30
 場 所 文京キャンパス2号館 M2308教室
 発表テーマ 【年中行事から文化の深層を見るー「お正月」・「春節」の比較研究ー】
 講 師 何 彬氏 (首都大学東京、人文社会系社会人類学教室教授)

5) 図書館主催講演会

日 時 平成24年7月4日 (水)
 場 所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール
 テーマ 「何故、大学の学習支援力が問われるのか?」
 講 師 逸村 裕氏 (筑波大学図書館情報メディア系教授)

6) 心理教育相談所主催講習会

◆一般対象講習会 (全5回)

回	日 程	時 間	講 師	テ ー マ
1	7月3日 (火)	13:00~14:30	山口 豊一	不登校への対応を考える
2	7月24日 (火)	11:00~12:30	酒井 佳永	うつからの社会復帰ー本人、家族によるうつの乗り切り方、支え方ー

3	9月10日(月)	13:00～14:30	藤澤 伸介	教育しようと思気込むと教育できなくなるのはなぜか
4	9月20日(木)	13:00～14:30	阿部 洋子	高齢者とのコミュニケーション
5	9月24日(月)	13:00～14:30	野島 一彦	心を癒すグループの力

◆不登校を考える親の会

心理教育相談所の新たな相談業務として24年度より開始した。24年6月～25年3月まで、第1・第3金曜日に開催

(13) 学生による授業評価の実施

1) 春学期

実施日 平成24年7月17日(火)、18日(水)、21日(土)、23日(月)、26(木)、27日(金)

実施科目数 688科目

履修登録者数 40,891名 回収数 32,151名 回収率 78.6%

2) 秋学期

実施日 平成25年1月23日(水)～1月29日(火)

実施科目数 697科目

履修登録者数 36,228名 回収数 26,601名 回収率 73.4%

(14) 広報関係及び懇談会等関係 (🌸)

1) 桜まつり

平成25年3月30日(土) 一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」を開催した

2) 高校教員対象大学説明会 (🌸)

高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

開催日 平成24年6月5日(火)

開催時間 15:00～17:30

会場 文京キャンパス (M2304教室)

参加者数 65名

3) オープンキャンパス

開催日 平成24年5月26日(土) 新座キャンパス

〃 6月16日(土) 新座キャンパス

〃 7月7日(土) 文京キャンパス

〃 7月21日(土) 文京キャンパス

〃 7月29日(日) 文京キャンパス

〃 8月18日(土) 新座キャンパス

〃 8月19日(日) 文京キャンパス

〃 8月25日(土) 文京キャンパス

〃 9月22日(土) 文京キャンパス

〃 11月3日(土) 新座キャンパス

〃 11月24日(土) 文京キャンパス

平成25年3月30日(土) 新座キャンパス

参加者数 4,235名(高校生2,555名、保護者他1,680名)

4) 跡見学園中学校高等学校対象の大学説明会

跡見学園中学校高等学校の生徒・保護者を対象とした大学説明会を行った。

開催日 平成24年6月15日(金)

開催時間 15:10～16:30

会 場 跡見学園中学校高等学校（跡見李子記念講堂、中高パソコン室）

参加者数 99名

5) 就職懇談会 (🌸)

企業の採用担当者を対象とする「学生参画型」の就職懇談会を実施した。第一部は就職担当教職員による説明会と2つの新学科の学生による学科紹介、第二部は懇談会を実施した。

開 催 日 平成24年11月13日（火）

出席者数 198名（企業105社114名、学生75名、法人・大学18名）。

会 場 文京キャンパスプロッサムホール、茗溪会館

6) 入試アドバイザー制度 (🌸)

この制度も今年度で14年目となり、入試アドバイザー（93名）による高等学校訪問（493校）を行い、志願者の確保に努めた。

(15) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

* 女子大学関係のなかで「新」は新座キャンパス、「文」は文京キャンパスを示す。

(単位：千円)

事業項目・内容	事業費	実施時期
新) 仮設校舎のリース継続 平成18年度の新学科増（コミュニケーション文化学科及び生活環境マネジメント学科）に伴う学生数増加に対応するため、体育館脇駐車場に100名程度収容できる仮設教室3教室を3年リースで設置したが、今後も本仮設教室利用が見込まれるため、設置を継続した。 (仮設教室：1号棟360.72㎡、2号棟180.36㎡)	4,719	年間
備蓄用品購入 災害用備蓄品として、大人3日分の食料・水および防寒防熱シートを収納した非常食キット（アークスリー）を2,820セット購入した（保存期間5年）。	4,681	4月、5月
新) グリーンホール（食堂棟）1階トイレ改修 1階食堂リニューアルに合わせて老朽化が進行していた1階トイレの改修を行い、車椅子用のブースも設置した。	8,988	5月末～6月中旬
新) 1号館耐震改築事業 平成23年度に実施した耐震診断および設計をもとに、耐震補強工事を実施した。4、5階講堂部分は特に補強が困難な構造であり、解体によりその直下の部分は補強が不要となることから、解体を実施した。	277,935	6月～9月
文) 2号館上水・雑用水配管クロスコネクション検査 平成20年の建築設備定期報告制度改正に従い、3年毎の実施が義務付けられた雑用水の着色検査（クロスコネクション検査）を行った。	231	8月
新) クラブハウス屋根及び外壁補修 建設から30年以上が経過し、屋根および外壁の劣化により漏水の危険性が高まっていたため、補修工事を実施した。	17,955	8月～9月上旬
新) 図書館照明改修 設置から20年が経過し老朽化が進んでいたこと及び省エネ化を図るため、高効率照明器具（Hf管）への更新を実施した。	21,525	8月～9月中旬
新) 災害用発電機設備（LPガス利用）設置 停電に備え、既存燃料であるプロパンガスを活用した発電機を設置した。	1,500	12月下旬
文) 1・3号館建物外壁劣化診断 平成20年の建築設備定期報告制度改正に従い、赤外線による外壁劣化調査診断を実施した。	2,769	12月下旬
新) グランドフィールドクレイ部分整備 グラウンドの一部が部活動等により削られて、水溜りが生じるなど使用に支障が生じていたため、土砂の補充を行った。	452	3月

②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
文) 茗荷谷交通ビル定期建物賃貸借契約 学園の情報発信・文化活動の拠点、教育・研究の充実、地域に根付いた学園として地域活性化・公共福祉、文京区との連携・区民開放・学術研究支援の推進、を目的として、春日通りに面し、茗荷谷駅すぐ近くにある当該施設の賃借を開始した。	敷金 15,429 賃料 1,398	2月末～
文) 茗荷谷交通ビル2階改修および什器購入 茗荷谷交通ビル2階を心理教育相談所の文京分室として運営するため、マジックミラー・防音壁を備えた観察室・面接室等の設置工事を行い、必要な什器を購入した。	10,360	3月
新) 2号館非常放送設備更新 設置から20年以上が経過しメーカー推奨期間を過ぎていることから、設備の更新を実施した。	2,678	3月
新) 図書館非常放送設備更新 設置から20年以上が経過しメーカー推奨期間を過ぎていることから、設備の更新を実施した。	2,237	3月
新) 1号館避難階段、平屋屋上中庭側手摺等補修 避難階段、平屋屋上手摺などの金具の錆付きが著しく、安全性・耐久性に懸念が生じているため、補修を実施した。	5,649	3月
新) 体育館舞台照明負荷設備補修 舞台照明設備コンセント、ケーブル等の老朽化が進行しているため、交換工事を実施した。	3,150	3月
新) 体育館調整室音響卓更新 調整室ミキサの老朽化により放送にノイズが生じる状態となっており、補修部品も生産終了していたため、更新を実施した。	3,150	3月

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
卒業生等の単位修得証明書等の電子ファイル化 大学及び短期大学卒業生等の単位修得証明書等の電子イメージファイル化、及びそれに係る表紙解体作業（背落としサービス）業務契約を締結した。	11,377	8月
文) 2号館マルチメディア学習ラボ構築 M2509室に教材作成ラボを構築した。	12,615	9月
新) 図書館視聴覚ホールAV関連機器改修 建物竣工当初（1992年）から使用しているものが多く、機器の多くが保障期間を過ぎてメンテナンスができない状態にあるため、AV設備の改修を実施した。	13,965	8月
新) 証明書発行機ICカードリーダー更新 平成24年4月に全学生の学生証をICカード化したことに伴い、現在磁気リーダーを使用している証明書発行機2台についてもICカードリーダーに更新した。	1,002	5月
文) 証明書発行機更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	10,216	3月
文) 1号館教員研究室・2号館ミーティングルームPC及びプリンタ更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	2,499	9月
新) 3号館インタラクティブスペースPC更新 再リース期間満了に伴い、機器を更新した。	4,483	10月

②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
事務系PC増設 人事異動に伴い、新座・文京キャンパスで各1台(計2台)不足となったPCを購入した。	333	4月
新) 1号館1308、1404、1501教室のAV設備改修 耐震工事後に授業を行うこととなった各教室に、あらためて機器を整備した。	6,541	9月
新) 1号館コピー室シュレッダー更新 再リース期間満了に伴い、機器を更新した。	361	2月
新) 1号館動画スタジオPC更新 再リース期間満了に伴い、機器を更新した。	343	3月
新) 花蹊メモリアルホールAV設備改修工事 建築当初より使用しているAV設備が10年以上を経過し、老朽化による不具合が上がっていること、更に部品供給を終了している機器も増えてきたことからアナログからデジタルへのシフトにも対応した機器に更新した。	13,650	3月
文) 茗荷谷交通ビル電話機・PC・回線設備等設置工事 平成25年4月より新規使用予定のため、電話機・PC・回線設備を設置した。	963	3月

(16) 入試状況

1) 平成25年度入試結果(平成25年3月31日)

①大学院

(単位：名)

研究科	専攻	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
人文科学研究科	日本文化	8	2	2	1	0	0
	臨床心理学	12	33	33	17	13	13
マネジメント研究科	マネジメント	15	5	5	3	2	2
合計		35	40	40	21	15	15

②学部

(単位：名)

学部	学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
文学部	人文	180	488 (3)	472 (3)	419 (1)	243 (1)	215 (1)
	現代文化表現	90	280 (1)	271 (1)	214 (0)	139 (0)	128 (0)
	コミュニケーション文化	120	301 (6)	293 (5)	264 (3)	141 (2)	119 (2)
	臨床心理	120	379	365	216	150	139
マネジメント学部	マネジメント	210	619 (3)	596 (3)	527 (1)	302 (1)	264 (1)
	観光マネジメント	90	287 (3)	284 (2)	205 (0)	133 (0)	121 (0)
	生活環境マネジメント	60	107 (0)	104 (0)	99 (0)	70 (0)	65 (0)
合計		870	2,461 (16)	2,385 (14)	1,944 (5)	1,178 (4)	1,051 (4)

* () は外数で編入学

(17) 修了者数・卒業者数・進路状況

1) 平成24年度大学院修了者数

①平成24年9月30日付修了者数 (単位：名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	1
	臨床心理学専攻	0
マネジメント研究科	マネジメント専攻	0
合 計		1

②平成25年3月18日付修了者数 (単位：名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	0
	臨床心理学専攻	8
マネジメント研究科	マネジメント専攻	3
合 計		11

2) 平成24年度大学卒業者数

①平成24年9月30日付卒業者数 (単位：名)

学 部	学 科	卒業者数
文 学 部	人文学科	9
	コミュニケーション文化学科	1
	臨床心理学科	2
	(計)	12
マネジメント学部	マネジメント学科	3
	生活環境マネジメント学科	3
	(計)	6
合 計		18

②平成25年3月18日付卒業者数 (単位：名)

学 部	学 科	卒業者数
文 学 部	人文学科	389
	コミュニケーション文化学科	106
	臨床心理学科	117
	(計)	612
マネジメント学部	マネジメント学科	252
	生活環境マネジメント学科	100
	(計)	352
合 計		964

3) 平成24年度進路状況 (平成25年3月18日付卒業者)

(単位：名)

卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率	進 学	その他
964	823	768	93.3%	39	157

(3) 中学校高等学校の実績

〈(花) 印は平成24年度事業計画事業〉

(1) 教育・研究関係

1) 教育目的

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスの取れた発達による全人教育を中高一貫教育の教育システムの中で実践した。

2) 教育目標 〈(花)〉

①生活指導面

中学生：基本的生活習慣の確立と自己分析（集団の中における自己の役割・個性）

高校生：個性を伸張させる仲間との連携と人生計画をたてられるよう指導した。

②学習指導面

中学生：学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の育成

高校生：自己の進路目的に向けた学習応用力の養成

○教育目標の具体化～生活面

1 全校的：全生徒

担任による個人面談の実施（4月12日～19日・10月2日～10日）

「生徒面談記録簿」を校務システムの中に取り入れ、全生徒の面談記録を残す。

体育祭（9月11日）

文化祭（9月15・16日）

音楽会（6月27日） グルジア国立バレエ団 於 東京文化会館
バレエ「白鳥の湖」

遠 足（5月29日） ・候補地を絞り、学年ごとに行動

中学1年 高尾山

中学2年 金時山

中学3年 宝登山

高校1年 パノラマ台

高校2年 榛名湖周辺

高校3年 森林公園

校外見学（11月13日） ・学年ごとに行動

海外語学研修（7月23日～8月6日）

・オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベン、14日間

現地校の授業参加、少人数英語授業受講

スキー教室（1月）

2 中学生：コミュニケーションスキルの育成

【ワークショップ内容】

中学1年生 テーマ： 友達を増やそう

・友達づくりのはじめの一步 ～跡見学園に入学してよかったと思えるような楽しい時間を過ごす

・力と智慧を合わせて ～協力の必要性・方法を知る 協力後の充実感を知る

中学2年生 テーマ： 仲間のよさを見つけよう

・温かい心を届けよう① ～相手の状況に応じた、気持のよい誘い方を知る

自分の気持ちを伝える返事の仕方を知る

- ・温かい心を届けよう② ～ほめることで相手との関係がよくなることを知る
ほめるとき、状況にあったほめる言葉を知る
- 中学3年生 テーマ： 大人になる準備をしよう
 - ・大人の世界へようこそ① ～自分で問題解決することができるようにする
 - ・大人の世界へようこそ② ～自分の進路は自分で選択できるようにする
- 3 悩みを持つ生徒に対して：ティームで取り組む（段階別に、担任、学年主任、保健主任、校務部長、副校長、カウンセラー）
- 4 危機管理に関する見直し：通常授業時、宿泊行事時、いじめ等生徒に対する効果的な「声かけ」を共有し、実施する
- 5 中学1年：新入生出校日における講話の充実
- 6 中学1年：自然教室 北軽井沢にて3泊4日（7月26日～8月7日）
鬼押し出し園と溶岩樹型群・観察の森・孀恋郷土資料館・鎌原観音堂見学
- 7 中学2年：自然教室 丸沼3泊4日（6月2日～8日）
湯滝・竜頭の滝見学、日光白根山登山、尾瀬ヶ原散策
- 8 中学3年：修学旅行 広島2泊3日（9月27日～29日）
被曝体験者の方と一緒に平和記念公園にて碑めぐり、広島平和記念資料館見学、放射線影響研究所・広島大学原爆放射線医科学研究所・本川小学校訪問、大久野島フィールドワーク、似島フィールドワーク
- 9 高校1年：オリエンテーション 箱根2泊3日（4月28日～30日）
職業調べ、外部講師・卒業生による講演、相談、グループワーク
- 10 高校2年：研修旅行 奈良・京都4泊5日（9月25日～29日）
東大寺・法隆寺・奈良公園・東寺など見学、クラス別・グループ別行動

○教育目標の具体化～学習面

学習面では以下の事業を行う。

- 1 全 校：全校漢字テスト、読書感想文、夏期・冬期補講、業者による学力テスト（中学：ベネッセ 高校：ベネッセ 駿台予備校）、漢字検定・英語検定必修
ベネッセファインシステムを導入し、生徒の進路指導・学力の客観的な分析・入試の予測や結果分析に利用
- 2 全 校：年間を通して授業曜日数を平均化する
- 3 全 校：積極的に外部のコンテスト等に出場するよう指導
- 4 中学生：茶道裏千家の作法習得
- 5 中学生：国語・数学・英語 遅れてしまった生徒対象にティームティーチングによる補習
- 6 中学1年～2年：英会話クラス設置（7限目）
- 7 中学2年～3年：英語の成績優秀者で希望する生徒に対し、英語夏期集中クラス設置
- 8 中学1年～2年：8クラス
- 9 中学3年：英語は1クラス2分割
- 10 高校生：全学年「英語演習」必修
- 11 高校生：英語特別クラスの設置
- 12 高校1年：「英語演習Ⅰ」を学校設定科目とする
- 13 高校3年：受験指導の徹底を図る
例「国語表現」で充実した小論文指導を行う
- 14 高校3年：難関大学受験クラスの設置
対象：高校3年生で希望する生徒
日時：4月～12月まで 週1回 7時限目相当

クラス：難関大学受験 国語
 難関大学受験 理系数学
 難関大学受験 文系数学
 難関大学受験 英語

授業内容：国公立・早大・慶大・理科大受験に対応するハイレベル

- 15 国語科：能・狂言、歌舞伎、文楽、雅楽鑑賞
- 16 社会科：隅田川周辺、江戸東京博物館見学、東京地方裁判所にて刑事裁判傍聴
- 17 数学科：中学3年～高校1年 習熟度授業 2クラス2分割
- 18 理科：小石川植物園、葛西臨海水族園、上野動物園、鹿島技術研究所見学
- 19 家庭科：テーブルマナー、食卓作法講習会、江戸東京たてもの園見学
- 20 音楽科：合唱コンクール
- 21 英語科：スピーチコンテスト
- 22 進路ガイダンス・キャリアガイダンスの充実を図るプログラムの作成（教務と進路の提携）
- 23 個人の学習到達目標を6年のスパンとする学力試験への変更

○対教員

講師による研修の定例化

○検討事項

海外語学研修の充実 ～姉妹校提携を視野に入れる

(2) 新規事業

○生活面

災害対応の徹底

- ・防災備蓄品のさらなる充実
- ・新入生への「災害対応マップ」、「災害対応マニュアル」活用の徹底

○学習面

1 高校2年生に難関大学受験クラスの設置

対象：高校2年生で希望する生徒

日時：1月以降 週1回 7時限目相当

クラス：難関大学受験 国語

難関大学受験 数学

難関大学受験 英語

授業内容：国公立・早大・慶大・上智大・理科大受験に対応し、ハイレベルの内容を含みながら、生徒の理解力を向上させる

費用：教材費のみ徴収

2 高校カリキュラムの全面的見直し ～コース制の設置

高校2年生

- ・私立文系 コース
- ・国公立文系 コース
- ・理系

高校3年生

- ・私立文系1 コース
- ・私立文系2 コース

- ・国公立文系 コース
- ・私立理系 コース
- ・国公立理系 コース

○総合

1 平成24年度実施の学校評価のクロス集計の分析

集計結果を分析することにより、本学の教育内容の実態を把握する。そして、具体的な対策を進める。

2 平成25年度入試振り返り

- ・入試の反省における資料の提示。手続放棄者と辞退者の識別
- ・学校説明会（7月）における平成25年度入試の問題解説

(3) 教員の教育力の向上をめざして

生徒の指導に当たる教員一人ひとりの能力を高め、教師集団としての教育力の向上を目指して次の目標掲げる。

- 1 教員の教科指導力の向上
- 2 教員のクラス経営、保護者との対応等マネジメント能力の向上
- 3 教員の協働意識の向上

上記の目標達成のために次の事業を行う。

1 教員の教科指導能力の向上のために

- ・教員の相互授業参観ならびに意見交換
- ・研究授業による自己研鑽
- ・副校長による授業参観
- ・生徒による授業評価

2 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力向上のために

- ・若手と経験豊富な教員との教育実践の交流・意見交換
- ・中堅教員に対する実践力アップのための研修提供

授業学研究所主催 教員養成講座 [中級] 2時間×10コマ

- | | |
|-----------------|---------|
| 第1回 生徒指導 | 2時間×2コマ |
| 第2回 家庭学習管理 | 2時間×2コマ |
| 第3回 保護者対応 | 2時間×2コマ |
| 第4回 教育コーチング | 2時間×2コマ |
| 第5回 モティベーションアップ | 2時間×2コマ |

3 教員の協同意識の向上のために次の事業を実施した。

- イ) 新入生出校日に合わせた新人教員への訓話
- ロ) 各校務主任による新人教員への研修
- ハ) 校長の新任教職員への個人面談

4 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力の向上 (🌸)

コミュニケーション能力向上のための研修「教師のためのカウンセリング基礎講座」に9月～11月参加した。

5 講演会

高校3年 主催 特別活動	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	ベネッセコーポレーション担当者
月 日	平成24年5月17日 (木)
テーマ	受験生として知っておいてほしいこと～現役合格に向けて～

高校3年 主催 特別活動	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	進路指導主任
月 日	平成24年6月14日 (木)
テーマ	推薦入試について

高校3年 主催 特別活動	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	卒業生 3名
月 日	平成24年6月21日 (木)
テーマ	大学受験に向けた経験談

高校1年 主催 特別活動	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	卒業生
月 日	平成24年6月21日 (木)
テーマ	OGによる大学学部紹介

PTA連合会主催 校長先生講演会	
対 象	PTA会員
講 師	校長 嶋田英誠先生
月 日	平成24年6月23日 (土)
テーマ	跡見花蹊と跡見学校

中高主催 (教職員研修)	
対 象	教職員
講 師	畑迫 亮 駿台予備学校東日本教育事業推進部長
月 日	平成24年7月10日 (火)
テーマ	「生徒の可能性を最大限に引き出す進学指導」

中学1年 主催	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	名古屋教諭 (養護)
月 日	平成24年7月11日 (水)
テーマ	衛生講話

中学1年 主催	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	大熊 雅士氏 東京学芸大学付属世田谷小学校教諭 東京学芸大学教職大学院特任教授
月 日	平成24年7月17日 (火)
テーマ	ソーシャルスキルワーク

中学1年 主催	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	名達 健介氏 (ベネッセコーポレーション)
月 日	平成24年9月20日 (木)
テーマ	学習講座

高校3年 主催 特別活動	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	ベネッセコーポレーション担当者
月 日	平成24年10月4日 (木)
テーマ	大学入試出願指導

高校1年 主催 特別活動	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	ベネッセコーポレーション担当者
月 日	平成24年10月4日 (木)
テーマ	文理を決めた後にすることを知る

進路指導主催 大学模擬授業	
対 象	高校1年生、高校2年生 生徒
講 師	東京外国語大学、法政大学、日本女子大学、武蔵大学、芝浦工業大学、東京医療保健大学、学習院大学 各大学の教授・准教授
月 日	平成24年10月13日 (土)
テーマ	外国語・外国文学、国際関係、心理、経済・経営・商学、理工、栄養、教育の各分野の模擬授業

中高主催 (教職員研修)	
対 象	教職員
講 師	石隈 利紀氏
月 日	平成24年10月26日 (金)
テーマ	学習障害の生徒をどのように指導したらよいか ～ディスレクシアを含めて～

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	パネリスト 加島 綾乃氏 大日本住友製薬(株) 原嶋 理香氏 トランスコスモス(株) 茂垣 裕明氏 日本IBM(株) モデレーター 峯 よう子氏 (株)人財育成大重塾
月 日	平成24年11月1日 (木)
テーマ	キャリア教育働くことから得る喜び

PTA連合会主催 講演会	
対 象	PTA会員
講 師	大熊 雅士氏 東京学芸大学付属世田谷小学校教諭 東京学芸大学教職大学院特任教授
月 日	平成24年11月10日 (土)
テーマ	「現代の子どもの課題に対応した子育ての在り方 ～いじめ問題に対する親の姿勢～」

保健係主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	校医 鈴木真理先生
月 日	平成24年11月15日 (木)
テーマ	思春期からの女性のヘルスプロモーション

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	進路指導主任
月 日	平成24年11月22日 (木)
テーマ	進路指導関連講義

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	卒業生 4名
月 日	平成24年11月29日 (木)
テーマ	OGによる大学受験のためのアドバイス

中高主催	
対 象	教職員
講 師	小石川消防署員 3名 (大槻氏他)
月 日	平成24年12月14日 (金)
テーマ	教職員AED救急救命講習会

中学1年 主催	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	大塚警察
月 日	平成25年1月10日 (木)
テーマ	セーフティ講座

中学2年 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	関 千枝子氏
月 日	平成25年1月17日 (木)
テーマ	平和学習のための講演会

中学1年 主催	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	e-ネットキャラバン講師
月 日	平成25年1月24日 (木)
テーマ	e-ネット安心講座

進路指導主催 キャリアガイダンス①	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	海老根 修氏 (ライセンスアカデミー)
月 日	平成25年2月7日 (木)
テーマ	キャリア教育に関する進路講演会

進路指導主催 キャリアガイダンス②	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	佐野 由美氏 (リクルート)
月 日	平成25年2月14日 (木)
テーマ	R-CAPの診断結果を読み解き、将来の職業について考える。

中高主催	
対 象	教職員、生徒
講 師	大塚警察署防犯係
月 日	平成25年2月25日 (月)
テーマ	教職員・生徒向 不審者侵入対策の防犯教育・訓練

高校2年 主催 講演会	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	ベネッセコーポレーション担当者
月 日	平成25年2月28日 (木)
テーマ	ベネッセ講演会「高3になる前にしておくべきこと」

高校1年 主催 講演会	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	ベネッセコーポレーション担当者
月 日	平成25年2月28日(木)
テーマ	ベネッセ講演会「高2へ向けての切り替えを図る」

カウンセリングルーム主催	
対 象	教員
講 師	大熊 雅史氏、早川 恵子氏、小林 正幸氏
月 日	平成25年3月7日(木)
テーマ	ソーシャルスキルワークショップ実施の指導法

高校1、2年 合同特別活動	
対 象	高校1年生、高校2年生 生徒
講 師	青藍会(2013.3.3卒業生) 4名
月 日	平成25年3月12日(火)
テーマ	入試体験談を聞く

(4) 入試広報関係

1) 入試の日程及び各回募集人数 (🌀)

平成25年度入試募集人数

第1回入試 2月1日 100名

第2回入試 2月2日 100名

第3回入試 2月4日 70名

2) 平成25年度入試の反省と26年度に向けて

1 平成26年度帰国生に関する検討

2 平成26年度入試業務の更なる見直し

3) 卒業生を迎えてのシンポジウムの継続

タイトル 跡見学園卒業生を迎えてのシンポジウム

テーマ My Life

日 時 平成24年11月24日(土) 14:00~15:30

場 所 跡見李子記念講堂

パネリスト 笹川 浩美(科学者 農学博士)

坂井 淳子(弁護士)

山畑 晴子(オペラ歌手 ソプラノ)

住川 明子(跡見学園中学校高等学校副校長、社会科教諭)

4) 学校説明会日程表

○外部主催

4月29日(日)	女子校アンサンブル	学習院女子大学
5月20日(日)	東京私立中学合同相談会	国際フォーラム
5月27日(日)	ベネッセ進学フェア	国際フォーラム
6月16日(土)	上野松坂屋・私立中高進学相談会	上野松坂屋
6月17日(日)	受験なんでも相談会	新宿NSビル

6月24日(日)	文京区私立中学高等学校連合進学説明会	秋葉原UDX
6月30日(土)	市進教育グループ合同相談会	すみだ産業会館
7月1日(日)	日能研 私学フェア	学習院大+慶大日吉
7月28日(土)	海外帰国子女進学相談会	ベルサール六本木
7月29日(日)	帰国子女相談会	実践女子学園
7月31日(火)	帰国生のための学校説明会・相談会	青少年総合センター
8月18日(土)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
8月19日(日)	東京私立学校展	東京国際フォーラム
9月2日(日)	TOMAS受験相談会	新宿NSビル
10月21日(日)	池袋進学相談会	池袋サンシャイン

○本校主催

5月10日(木)	塾の先生対象	10:30~12:20
5月12日(土)	保護者対象	10:30~12:20
6月23日(土)	小学生対象 クラブ発表会	14:00~
7月7日(土)	保護者対象	10:30~12:20
9月7日(金)	保護者対象	18:00~
9月15日(土)	保護者対象(文化祭)	9:00~16:00
9月16日(日)	保護者対象(文化祭)	9:00~16:00
10月15日(月)	塾の先生対象	10:30~12:20
11月10日(土)	保護者対象	10:30~12:20
11月17日(土)	小学生対象 体験授業	14:00~
11月24日(土)	シンポジウム My Life	
12月1日(土)	保護者対象	10:30~12:20

○本校における各塾主催

・SAPIX	5月14日(月)	10:30~12:20
・市進	5月15日(火)	10:30~12:20
・四谷大塚	6月11日(月)	10:30~12:20
	10月14日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
	11月11日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
	12月9日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30
・早稲田アカデミー	6月9日(土)	10:30~12:20
・栄光ゼミナール	6月12日(火)	10:30~12:20
・TOMAS	6月28日(木)	10:30~12:20
・日能研	12月2日(日) 含 模擬試験	8:30~11:30

(5) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
備蓄用品購入 教職員用の災害用備蓄品として、大人3日分の食料・水および防寒防熱シートを収納した非常食キット（アークスリー）を158セット購入した（保存期間5年）。	262	4月
大アリーナバスケットコートライン引き直し バスケットルール改正に伴い、ラインの引きなおしを実施した。	966	4月
プールタイル目地詰補修 プールタイル目地が長年の使用で磨り減り、タイル剥がれ等の支障が生じていたため、プール内部およびプールサイドの目地詰め補修を実施した。	1,470	4月
大アリーナ舞台機構設備改修 舞台吊物設備が設置から20年経過し、ワイヤー・滑車等の劣化や制御機器の老朽化が進んでいたため、改修を実施した。	9,975	7月
校舎内塗装工事（大小アリーナ・講堂側階段） 平成23年度に実施した中高校舎教室側の廊下・階段塗装に引き続き、大小アリーナ・講堂側の表裏階段塗装を実施し、大アリーナ洗い場の修繕も実施した。	6,426	7月
上水・雑用水配管クロスコネクション検査 平成20年の建築設備定期報告制度改正に従い、3年毎の実施が義務付けられた雑用水の着色検査（クロスコネクション検査）を行った。	231	8月
大型非常用発電機設置 災害時に地下貯水槽の水を高架水槽にくみ上げ、トイレ用水として使用できるように、揚水ポンプ電力を主目的とした大型発電機（最大容量90kVA）の設置工事を行った。	12,968	8月
空調設備改修工事（第1期） 設置から20年経過し老朽化した校舎西側各教室天井のFCU、全熱交換機および一部パッケージエアコンの高効率機器による更新を行い、第1音楽室AHU（大型空調機）についてはオーバーホールを実施した。	78,750	8月 冬期休暇中
第1音楽室排気ファン更新 第1音楽室排気ファンのモーター老朽化により、更新工事を実施した。	971	12月
李子記念講堂外部入口建具改修 記念講堂外部出入口建具が老朽化し、開閉に支障をきたしていたため改修を実施した。	1,155	12月
李子記念講堂前換気設備改修 記念講堂前廊下の換気設備3台が老朽化により異音を発していたため、改修を実施した。	1,699	12月
昇降階段（段鼻）タイル張替 昨年の滑り止め処理剤施工による防滑対策に加え、より一層の安全性を確保するため、昇降階段の段鼻タイルを色の識別し易い防滑仕様タイルに張替えた。	3,465	12月下旬 ～1月上旬
大アリーナ舞台照明調光設備改修 調光設備が設置から20年経過し、老朽化が進んでおり、補修部品も生産終了していたため更新を実施した。	14,490	12月下旬 ～1月上旬
樹木強剪定 樹木が繁茂し、公道・隣地含めて落葉、落木、害虫繁殖等の被害が懸念される状態であったため、樹木休眠期に高木類の強剪定を実施した。	1,365	2月
可動式発電機購入 8月に設置した自家発電設備装置の補完機器として可動式発電機3台及び電力延長に必要となる電工ドラム4台をあわせて購入した。	735	3月
生徒用ロッカー更新 教室前廊下ロッカーは設置から20年以上経過し、丁番の破損など老朽化が進んでいたため、更新を行った。	22,449	3月

事業項目	事業費	実施時期
特別教室カーテン更新（図書館以外） 特別教室、選択教室、生徒会室等の劣化が進行しているカーテン78窓分の更新を行った。	1,974	3月
各教室時計更新 時計の正確性を確保するため、教室の時計58台を電波時計に更新した。	646	3月
プールサイド滑り止め処理 プールサイドは床面タイルが頻繁に水に濡れ、滑り易くなる危険があるため、湿潤状態でも防滑効果を発揮する滑り止め処理剤の施工を実施した。	1,417	3月

②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
消火設備配管バルブ交換 送水口付近の配管バルブ老朽化により微量の水漏れが生じ、消防用のポンプが起動してしまい、しばしば非常ベルの誤作動が起こっていたため、バルブ3台の交換を実施した。	1,115	12月
ピット内配管支持金物等修理 ピット内給水管および冷温水配管の吊り金具等に錆付き及びボルトの緩みが見られ、脱落の懸念があったため、交換等の補修工事を実施した。	1,556	12月
隣接地購入 校舎裏手側の校地に食い込む様に隣接していた土地（250.08㎡）を購入し、将来の校舎増設の敷地に充てることとした。	土地 250,000 手数料他 5,271	12月
隣接地建物解体および壁・フェンス設置 購入した隣接地を直ちにランニングコースなどの校地として利用できるよう、建物・壁を解体し、道路側には同様の壁・フェンスを設置した。	6,059	12月
校長室FCU2台更新 校長室FCUが老朽化し暖房能力が不足していたため、空調設備改修工事（第1期）に合わせて更新を実施した。	1,260	12月
プール更衣室等内装・諸設備改修 プール更衣室・監視室等の排気ファン老朽化により換気能力が低下し、湿気による劣化で震災時等に天井崩落の懸念があったため、天井等内装の補修工事を行うと共に、空調を中心とした諸設備の改修を実施した。	13,418	3月

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
中高	校務システムOCR機器更新 リース期間満了に伴い、機器を更新した。	3,255	11月
	李子記念講堂AV設備更新 建築当初より使用しているAV設備が約20年を経過し、老朽化による不具合が上がっていること、更に部品供給を終了している機器も増えてきたことから、使用状況に適した機能を持たせ、操作性の高い音響設備に更新した。	43,785	12月

②それ以外の事業

なし

(6) 入試状況

1) 中学校平成25年度入試結果

①一般入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
270	1,235	663	355	299

②帰国生入試 (単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
若干名	29	28	28	9

(7) 卒業者数・進路状況

1) 高等学校

- ①平成24年度卒業者数（平成25年3月3日） 257名
- ②平成24年度卒業生（平成25年3月31日）大学等合格状況
- | | |
|----------------|------|
| 4年制大学【国公立】合格者数 | 17名 |
| 4年制大学【私立】合格者数 | 211名 |
| 短期大学 合格者数 | 3名 |
| 専門学校 合格者数 | 1名 |
| 留学 | 0名 |

2) 平成24年度中学校卒業者数（平成25年3月19日） 258名

3. 管理運営の概要**(1) ガバナンス**

1) 平成24年度理事会・評議員会

①理事会

開催日	会議	議案	
平成24年5月22日	361回	1	平成23年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2	平成23年度跡見学園収支決算報告に関する件
平成24年5月22日	362回	1	大学新座キャンパス1号館の耐震改築事業予算の補正に関する件
平成24年7月24日	363回	1	中学高校に隣接する土地の購入に関する件
		2	有価証券の活用に関する件
平成24年10月23日	364回	1	平成24年度跡見学園収支補正予算に関する件
		2	平成25年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成25年3月26日	365回	1	茗荷谷交通ビルの賃借に関する件
		2	新しい学生寮の設置に関する件
		3	小日向テニスコートの時間貸駐車場への用途変更に関する件
		4	平成25年度跡見学園事業計画に関する件
		5	平成25年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		6	学校法人跡見学園就業規則の一部改正に関する件（平成25年4月1日実施）

②評議員会

開催日	会議	議案	
平成24年5月22日	314回	1	平成23年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2	平成23年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3	寄附行為第19条の2第4号に規定する評議員の補欠選任に関する件
		4	大学新座キャンパス1号館の耐震改築事業予算の補正に関する件
平成24年7月24日	315回	1	中学高校に隣接する土地の購入に関する件
		2	有価証券の活用に関する件
平成24年10月23日	316回	1	平成24年度跡見学園収支補正予算に関する件
		2	平成25年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成25年3月26日	317回	1	茗荷谷交通ビルの賃借に関する件
		2	新しい学生寮の設置に関する件
		3	小日向テニスコートの時間貸駐車場への用途変更に関する件
		4	平成25年度跡見学園事業計画に関する件
		5	平成25年度跡見学園収入支出予算案に関する件

2) 常務理事会

平成24年度は17回開催した。

3) 経営会議

平成24年度は38回開催した。

4) 理事長、顧問、常務理事、監事、公認会計士との意見交換会

平成24年度は平成24年5月17日（木）及び平成25年1月23日（火）に開催した。

(2) 自己点検・評価

1) 大学の自己点検、評価についてはP.43（7）を参照のこと。

2) 職員人事評価制度実施に係る研修の実施 

①新任の部館長・課長職のための評価者研修

日 時：2月7日（木）13:00～16:30、文京キャンパス2号館2302教室

対 象：学務部長、入試部長、情報メディアセンター長、花蹊記念資料館長

講 師：日本能率協会主任研究員

日 時：2月20日（水）9:00～12:30、法人2階会議室

対 象：中高校務部長、大学庶務課長代理

講 師：日本能率協会主任研究員

3) 職員人事評価制度実施に係る評価者会議の実施

①目標難易度設定会議

日 時：5月28日（月）10:00～12:00、法人2階会議室

参加者：法人事務局長、大学事務局長、中高副校長

②第一次評価者会議

【大学】

日 時：2月28日（木）9:15～12:30、文京2号館2401教室

対 象：大学事務局長（主宰者）、大学事務局次長、大学各課長（庶務・学生は課長代理）、

法人事務局長、法人総務部長、日本能率協会講師

【法人】

日 時：2月28日（木）14:00～16:30、法人2階会議室

対 象：法人事務局長（主宰者）、法人各課長、日本能率協会講師

【中高】

日 時：3月2日（土）9:00～11:30、法人2階会議室

対 象：副校長（主宰者）、中高庶務課長、法人事務局長、法人総務部長、日本能率協会講師

③第二次評価者会議

日 時：3月23日（土）10:00～12:30、法人2階・中会議室

対 象：学長、副学長、大学事務局長、校長、副校長、法人事務局長、法人総務部長、日本能率協会講師

4) JMA 大学SDフォーラム

日本能率協会研修 24年度大学SDフォーラムへの参加（のべ47名）

コンセプトual・ナレッジ（企画・改革力）			
No.	セミナー名称	参加人数	東京開催
			開催日/開催時間
1	業務改革・改善入門セミナー	2名	6月26日（火）
		1名	6月26日（火）
2	プレゼンテーションセミナー	3名	7月31日（火）
3	ファシリテーションセミナー	3名	9月18日（火）
4	企画書・報告書の作成ノウハウ基本セミナー	3名	10月16日（火）
5	リーダーシップ基本セミナー	3名	7月3日（火）
6	管理者のためのコーチングスキル基本セミナー	3名	7月9日（月）
7	クレーム対応・対策基礎セミナー	3名	6月20日（水）
8	ストレスマネジメント基礎セミナー	3名	9月25日（火）
9	部下指導・OJT入門セミナー	4名	10月30日（火）
10	高等教育政策と大学改革の動向研究セミナー	3名	7月17日（火）
11	学校法人会計・財務基礎セミナー	2名	9月4日（火）
12	入試・広報業務入門セミナー	2名	10月1日（月）
13	インターンシップ担当者基本セミナー	2名	10月10日（水）
14	新任人事・教育担当者基本セミナー	1名	11月6日（火）
15	タイムマネジメント基礎セミナー	3名	12月4日（火）
16	【大学訪問】 ファシリティマネジメント研究セミナー 東京電機大千住キャンパス見学	4名	11月29日（木）
17	【大学訪問】 宮城学院 リスクマネジメント研究セミナー	2名	11月1日（木）

(3) 情報公開

学校教育法施行規則（平成22年6月15日付け改正）により、平成23年4月1日から、各大学等において教育情報の公表を行う必要があるとして明確化された項目について、平成24年度はホームページ及び学園情報誌等で「教育情報」「財務情報」を中心に情報公開を積極的に行った。また、平成25年

4月リニューアルを目指し、Webサイトを大きく改良した。平成25年度には更なる閲覧者の増加をめざし、アクセスログ解析や分析なども試みる予定である。

(4) 施設設備・情報環境整備関係

1) 施設環境の整備

①事業計画の事業

○法人事務局関係

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
屋上防水および外壁補修 屋上防水層が経年劣化しており、雨漏りなど被害の拡大が懸念されるため、リベットルーフによる防水工事を行った。また、前年に実施した外壁劣化診断で懸念が指摘された箇所について、ゴンドラを使用し補修を実施した。	7,980	8月
備蓄用品購入 職員用の災害用備蓄品として、大人3日分の食料・水および防寒防寒シートを収納した非常食キット（アークスリー）を82セット購入した（保存期間5年）。	136	4月

○校外施設

・北軽井沢研修所

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
地下給水湯配管改修（3期） 地下ボイラー室の給水湯配管が経年のサビ・スケールにより配管閉塞状態になっているため、1期・2期工事（通常利用スペース改修）に引き続き改修工事を実施した（地下階給水湯配管改修工事は完了）。	5,579	6月
防災盤及び電話設備改修 非常放送設備及び電話設備が老朽化しており、故障の危険性が高まっていたため改修を実施した。	2,443	6月

・学生寮関係

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
給茶機更新 食堂で使用されている給茶機は設置から10年が経過しており、使用頻度から消耗の度合いも激しいと考えられるため更新を実施した。	329	10月

②それ以外の事業

○校外施設

・北軽井沢研修所

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
地下脱衣室クロス張替 地下脱衣室の壁・床・天井が経年の結露等によりカビの発生が見られるため、夏期自然教室までに防カビ下地調整を行った上で張替えを実施した。	924	6月下旬 ～7月上旬
各室畳表替え 各室の畳表が老朽化し見栄えが悪くなっていたため、夏期自然教室前に表替えを実施した。	1,649	7月

事業項目	事業費	実施時期
厨房路線給水湯配管改修 1階厨房系統の給水管に軽度の漏水跡が見られ、老朽化による被害拡大が懸念されたため、改修を実施した。	1,580	3月

2) 情報環境の整備

①事業計画の事業

○法人事務局関係

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
ネットワークシステム更新（データセンター設置含） 学園基幹ネットワーク機器リース満了に伴い、機器を購入し、データセンターへ移設した。	154,003	8月
ネットワーク機器ハードウェア・ソフトウェア保守契約 ネットワークシステム更新により、ハードウェア・ソフトウェアについて保守契約を締結した。	2,072	9月
ネットワーク運用支援サービス契約締結 ネットワークシステム更新により、定期サポート契約を新たに締結した。	5,292	9月
既存サーバデータセンター移設 ネットワークシステム更新により、学園基幹ネットワーク以外のサーバについてもデータセンターへ移設することとした。	3,864	8月
データセンターサービス契約締結 ネットワークシステム更新により、データセンター使用契約を締結した。	3,278	9月
データセンターバックアップメディア交換サービス・備品保管サービス契約締結 データセンターにおけるバックアップメディア交換サービスや、サーバ添付品やマニュアルを保管するサービスについて契約を締結した。	589	9月
学外回線開設 学園ネットワークシステムの変更に伴い、これまで利用していた学外通信（2回線）について、SINETにおいては「データセンター-SINET間」に、ISPについては「データセンター-学外」を開設した。	2,467	7月
広域イーサネット回線・バックアップ回線契約締結 ネットワークシステム更新により、広域イーサネット回線（キャンパス間及びデータセンター）・バックアップ回線（各キャンパスからデータセンター間バックアップ回線）利用の契約を締結した。	3,601	9月
事務システムサーバ等更新 ドメイン・ファイル、人事給与システム、規程集、就業情報、財務システム、各サーバのリース期間満了に伴い、機器を購入し、データセンターへ移設した。	7,329	6月 8月
人事給与システム更新 人事給与システムサーバ更新に伴い、システムの更新を実施した。（新規ソフトウェア購入）	12,495	8月
ドメイン・ファイル・規程集・就業情報・財務システム・人事らくらく定期、各サーバソフトウェア更新 各サーバ更新に伴い、既存ソフトウェアの移行及び各種設定作業を行った。	3,776	8月
ネットワーク機器リース満了に伴う機器引取及びデータ消去 リース期間満了に伴い、ネットワーク機器各サーバの引取およびデータ消去を実施した。	776	9月

②それ以外の事業

なし

(5) 跡見学園規定等の変更

1) 学園関係

- (1) 臨時職員に関する規程の見直しについて
 - ① 「職員人事取扱区分規定」の一部改正
 - ② 「特別任用職員規程」を新設
 - ③ 「臨時職員規程」を廃止
 - ④ 「派遣職員の取り扱いに関する内規」の別表の一部改正
平成24年10月30日（火）経営会議にて了承
施行日 平成25年4月1日
- (2) 「組織規程」の一部改正について
平成25年2月19日（火）経営会議にて了承
施行日 平成25年4月1日
- (3) 「出張規程・出張規程施行細則」の一部改正
平成25年2月19日（火）経営会議にて了承
施行日 平成25年4月1日
- (4) 「ハラスメント防止対策規程」の制定
平成25年2月19日（火）経営会議にて了承
施行日 平成25年4月1日
- (5) 年次有給休暇の半日取得制度の新設について
 - ① 「跡見学園年次有休休暇規定」の一部改正
 - ② 「跡見学園における年次有休休暇の半日取得取扱内規」の新設
平成25年3月26日（火）経営会議にて了承
施行日 平成25年4月1日
- (6) 「学校法人跡見学園就業規則」の一部改正
平成25年3月26日（火）理事会にて了承
施行日 平成25年4月1日

2) 大学

- (1) 「大学評議員手当の支給範囲に係る給与規定」の一部改正
平成24年4月24日（火）経営会議にて了承
施行日 平成25年4月1日
- (2) 「跡見学園女子大学カウンセリング実習倫理綱領」の一部改正
平成24年3月28日 大学評議会において了承
施行日 平成24年4月1日
- (3) 「跡見学園女子大学学位規程」の一部改正
平成24年5月16日 大学評議会において了承
施行日 平成24年4月1日
- (4) 「跡見学園女子大学情報セキュリティ委員会規程」の一部改正
平成24年12月19日 大学評議会において了承
施行日 平成25年4月1日
- (5) 「跡見学園女子大学附属心理教育相談所規程」の一部改正
平成25年3月1日 大学評議会において了承
施行日 平成25年4月1日
- (6) 「卒業論文・卒業研究規程」平成22年度入学者より適用する規程を制定
平成24年11月21日 大学評議会において了承
- (7) 「他の大学等における履修、大学以外における学修及び入学前の既修単位等の認定に関する規

程」の一部改正

平成25年2月20日 評議会において了承

施行日 平成25年4月1日

(8)「跡見学園女子大学情報セキュリティポリシー」の制定

平成24年12月19日 評議会において了承

3) 中学校高等学校

(1)「中学高校嘱託講師規程」の一部改正

平成25年1月29日(火) 経営会議にて了承

施行日 平成25年4月1日

(2) 中学校の機構改革に伴う所要の諸規程の改正及び制定について

①「跡見学園中学校高等学校における役職の任命等に関する規程」の一部改正

②「跡見学園中学校高等学校の専任教員の責任担当授業時間数に関する規程」の一部改正

③「給与規定」の一部改正

④「跡見学園中学校高等学校における委員会設置に関する規程」の制定

平成25年2月19日(火) 経営会議にて了承

施行日 平成25年4月1日

(6) 山崎一穎理事長の理事長重任の登記について

理事長山崎一穎氏は校長兼任が平成24年3月31日をもって解かれ、平成24年4月1日から山崎一穎氏の第21期理事選任区分が職務上の理事から学識経験者理事に変更となり、かつ当該理事を基礎身分とする理事長としても選任したため、当法人の理事長の登記及び所轄庁への届出を行った。

なお、平成24年4月1日から平成26年6月23日を任期とする。

代表権者 理事長 山崎一穎

登記日 平成24年5月9日(水)

所轄庁 文部科学省、東京都

(7) 調査

1) 特定建築物に関する立入調査(新座キャンパス大学1号館)

調査年月日 平成24年7月27日(水)

調査内容 建築物衛生法の定める特定建築物(学校8,000㎡以上)に該当する新座キャンパス1号館(延床面積10,280.28㎡)の衛生環境に配慮した管理についての調査

調査機関 埼玉県保健医療部生活衛生課 環境衛生・ビル監視担当

2) ホテル・旅館等の立入調査(北軽井沢研修所)

調査年月日 平成24年8月7日(火)

調査内容 ホテル・旅館等としての北軽井沢研修所の防火安全対策についての立ち入り調査

調査機関 群馬県 中之条土木事務所建築係

3) 固定資産税・都市計画税非課税調査(文京キャンパス及び小日向校地)

調査年月日 平成24年11月26日(月)

調査内容 非課税固定資産に関する利用状況の調査

①書類確認および聞き取り調査

②現地調査

調査場所 中高校舎、跡見講堂、作法室、S棟、体育倉庫、大学1号館、大学2号館、大学3号館、法人棟、小日向更衣室

調査機関 東京都文京区都税事務所固定資産課 固定資産係

(8) 学園広報関係 (※) 印は平成24年度事業計画事業)

1) 学園情報誌『ブロッサム』の発行 (17,472,000円) (※)

学園広報誌として7月に33号(特集:自らキャリアを考える女性を目指して～マネジメント学部は創設10周年を迎えました～)、1月に34号(特集:地域に開かれた大学へ～女子大学の地域貢献活動～)を各々65,000部発行した。主な配布先は、生徒・学生、学園卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。33号には学園の財務情報を公開したほか、各設置校の最新の情報を提供した。

2) 『跡見学園報』の発行 (810,600円)

学園報第54号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画を公表した。平成25年1月、学園報第55号を発行した。

3) Web環境の整備 (※)

- ・学園ホームページに、平成24年7月30日(月)付で、平成23年度事業報告書・平成24年度事業計画書を公開した。また、学園情報誌『ブロッサム』についても33号は平成24年7月26日(木)付、34号は平成25年1月11日(金)付で学園ホームページに公開した。
- ・校友メールマガジン「あとみネット」を、No.553からNo.597まで配信した。(メールマガジン配信システム利用料:462,000円)
- ・学園3機関(中高・大学・法人)のホームページを全面リニューアルして、統一感を持たせるようにした。(ホームページリニューアル費用:13,986,000円)
- ・前年度に引き続き、早期化する学生募集の活動に対応するため、「進学ネット」へ参画した。

4) イメージ広告等

①交通広告 (13,653,530円) (※)

昨年度に引き続き、「A」のロゴ(デュアルキャンパス)をメインに使用した学園広告ならびに学園・大学の知名度を上げるための広告を以下の通り掲出した。

企画内容	実施時期	掲出路線・駅等
東急エチケットボード	平成24年4月1日～平成25年3月31日 (渋谷を除き平成25年4月1日以降も継続中)	渋谷・自由が丘・二子玉川・あざみ野・日吉・綱島(東横線渋谷駅は地上駅閉鎖の3/15まで)
東京メトロ車内ビジョン	平成24年7月9日～7月15日 平成24年12月31日～平成25年1月6日	有楽町線・副都心線・丸ノ内線・東西線・千代田線の新型車両
Big10(大型ポスター)	平成24年7月9日～7月15日 平成24年12月24日～平成25年1月6日	渋谷(東横線地上駅)
大学連合ポスター	平成24年7月2日～7月15日 平成24年7月9日～7月15日	JR埼京線中吊り 西武全線・小田急全線中吊り
	平成24年12月3日～12月9日	JR東海道線窓上
	平成24年12月3日～12月16日	西武全線、東武東上線窓上
	平成24年12月3日～12月9日	小田急全線中吊り
平成24年12月3日～12月9日	JR主要31駅(東日本)	
有楽町線・副都心線中吊りポスター	平成24年8月6日～19日 平成24年12月17日～25日	有楽町線・副都心線中吊りB3ワイド
JR武蔵野線、東武東上線、西武線全線大学連合企画	平成24年4月1日～平成25年3月31日	沿線大学案内窓上(西武線はドア横)
都バス大塚車庫前停留所車内アナウンス	平成24年7月1日～平成25年3月31日 (平成25年4月1日以降も継続中)	都02(大塚駅～錦糸町駅) 都02乙(池袋駅～一ツ橋)

②グッズ制作 (9,731,820円) (※)

前年度方針を継承し、手提袋(大)、オリジナルデザインのおぶらとり紙セット、ミンティア、ブロック型付箋、ココフセン、夏の猛暑対策用の香り付きうちわ(オリジナルデザイン、ローズの香り付き)を制作した。また、各機関からの要望により、新たにロゴ入りボールペン、大学のオー

ブンキャンパスや中高の学校説明会などのイベントで使用するミニのぼり・大型バックボード（布製、収納式）を作成した。

③Bーぐるバス時刻表（283,500円）

文京区のコミュニティバス（Bーぐるバス）の時刻表（読売新聞折込広告と朝日新聞折込広告）に学園広告を掲出した。

④その他新聞・雑誌・Web等の広告掲出（11,638,725円）〈※〉

受験生・保護者が見ることを想定し、新聞の連合広告・受験雑誌等に広告を掲出した。

⑤跡見オリジナル瓦煎餅の制作（342,720円）

受験生のみならず塾や企業等にも広く学園知名度をアップさせることを目的とし、跡見学園後援会の協力も頂き跡見オリジナルの瓦煎餅（銀座松崎煎餅製）を制作・配布した。

⑥森鷗外生誕150年記念事業への特別協賛（300,000円）〈※〉

区が推進する森鷗外記念館を内外に強くPRするための記念事業に学園として特別協賛した。これにより、記念事業に関するポスターやチラシ等には他の協賛大学・企業とともに学園の広告が掲出された。

5) 駅看板 〈※〉

従来からの16駅の駅看板について、継続して掲出した。

平成24年12月3日より、新たに東京メトロ丸ノ内線池袋駅ホームへの看板を追加掲出した。(制作費・掲出料：888,269円)

(9) 各種補助金の獲得について

交付元	補助金名	対象	内 容	交付額※
文部科学省	平成23年 私立学校施設設備費補助金	大学	新座キャンパス1号館の耐震診断、耐震設計、補強・改築工事	90,020千円
東京都	平成24年度 私立学校施設設備費補助金	中高	空調設備改修工事（第1期）	23,555千円
東京都	平成24年度 私立学校施設設備費補助金	中高	地下プール更衣室等天井落下防止・壁補修等工事	1,527千円
文部科学省	平成24年度 私立学校施設設備費補助金	大学	新座キャンパス花蹊メモリアルホールAV設備更新	6,246千円
東京都	平成24年度 結核予防費都費補助金	大学 高校	健康診断（胸部X線）を受診した1年生及び編入生に対する人数分の補助	410,324円
東京都 私学財団	平成24年度 私立学校防災用品緊急整備費 助成金	中高	ヘルメット、手廻電源ラジオ、保存用パン、アルカリ電池一式の購入に対する補助	4636,000円
東京都	平成24年度 私立学校経常費補助金	中高	一般補助及び特別補助	465,702,700円
私学事業団	平成24年度 私立大学等経常費補助金	大学	一般補助及び特別補助	220,143,000円
私学事業団	平成24年度 学術研究振興資金	大学	研究課題「生物多様性に配慮したサプライチェーンマネジメント」研究代表者 宮崎正浩（マネジメント学部教授）	300千円

注1) 平成24年度工事实施

※実績額の確定は次年度となる場合がある。

Ⅲ. 財 務 の 概 要

1. 平成24年度跡見学園収支決算について

(1) 資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

平成24年4月1日から

平成25年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,497,665,000	5,429,704,683	67,960,317
授業料収入	3,934,220,000	3,882,199,183	52,020,817
入学金収入	483,380,000	483,502,500	△ 122,500
実験実習料収入	24,569,000	21,541,000	3,028,000
施設設備資金収入	987,600,000	974,890,000	12,710,000
冷暖房費収入	67,896,000	67,572,000	324,000
手数料収入	102,970,000	110,656,540	△ 7,686,540
入学検定料収入	96,100,000	103,505,000	△ 7,405,000
証明手数料収入	2,070,000	2,446,800	△ 376,800
大学入試センター試験実施手数料収入	4,800,000	4,704,740	95,260
寄付金収入	162,980,000	156,315,970	6,664,030
特別寄付金収入	54,844,000	55,345,500	△ 501,500
一般寄付金収入	108,136,000	100,970,470	7,165,530
補助金収入	797,943,000	820,921,674	△ 22,978,674
国庫補助金収入	341,000,000	341,491,000	△ 491,000
学術研究振興資金収入	300,000	300,000	0
地方公共団体補助金収入	446,977,000	471,319,024	△ 24,342,024
都私学財団補助金収入	9,666,000	7,811,650	1,854,350
資産運用収入	50,000,000	37,555,744	12,444,256
受取利息・配当金収入	50,000,000	37,279,744	12,720,256
施設設備利用料収入	0	276,000	△ 276,000
事業収入	134,436,000	118,211,530	16,224,470
補助活動収入	133,486,000	106,167,000	27,319,000
収益事業収入	0	10,000,000	△ 10,000,000
受託事業収入	950,000	2,044,530	△ 1,094,530
雑収入	124,358,000	137,575,295	△ 13,217,295
東京都私学財団交付金収入	29,158,000	34,457,500	△ 5,299,500
私立大学退職金財団交付金収入	90,160,000	95,381,400	△ 5,221,400
その他の雑収入	5,040,000	7,736,395	△ 2,696,395
前受金収入	1,306,249,000	1,316,160,000	△ 9,911,000
授業料前受金収入	563,920,000	553,562,000	10,358,000
入学金前受金収入	492,585,000	508,975,000	△ 16,390,000

実験実習料前受金収入	7,344,000	7,871,000	△ 527,000
施設設備資金前受金収入	223,725,000	226,225,000	△ 2,500,000
冷暖房費前受金収入	13,068,000	12,852,000	216,000
補助活動前受金収入	5,607,000	6,675,000	△ 1,068,000
その他の収入	183,821,000	9,622,675,356	△ 9,438,854,356
退職給与引当特定資産からの繰入収入	0	261,800,000	△ 261,800,000
建物償却引当特定資産からの繰入収入	0	2,100,000,000	△ 2,100,000,000
法人維持特定資産からの繰入収入	0	720,290,000	△ 720,290,000
前期末未収入金収入	183,821,000	175,791,060	8,029,940
仮払金回収収入	0	106,048,838	△ 106,048,838
前渡金回収収入	0	828,181	△ 828,181
預り金受入収入	0	1,623,080,155	△ 1,623,080,155
修学旅行費預り金収入	0	85,300,379	△ 85,300,379
仮受金受入収入	0	4,549,536,743	△ 4,549,536,743
資金収入調整勘定	△ 1,343,815,000	△ 1,480,775,848	136,960,848
期末未収入金	△ 112,947,000	△ 249,907,848	136,960,848
前期末前受金	△ 1,230,868,000	△ 1,230,868,000	0
前年度繰越支払資金	7,688,405,000	7,688,404,716	
収入の部合計	14,705,012,000	23,957,405,660	△ 9,252,393,660

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,613,366,000	3,596,779,319	16,586,681
教員人件費支出	2,350,937,000	2,337,889,842	13,047,158
職員人件費支出	1,078,082,000	1,065,314,464	12,767,536
役員報酬支出	34,921,000	35,071,263	△ 150,263
退職金支出	149,426,000	158,503,750	△ 9,077,750
教育研究経費支出	1,290,092,000	1,221,269,338	68,822,662
準備品費支出	1,151,000	4,188,895	△ 3,037,895
消耗品費支出	105,444,000	95,117,686	10,326,314
光熱水費支出	133,558,000	122,891,674	10,666,326
通信運搬費支出	26,319,000	23,340,058	2,978,942
福利費支出	25,289,000	22,365,691	2,923,309
出版物費支出	49,155,000	47,915,735	1,239,265
印刷製本費支出	53,118,000	42,265,153	10,852,847
旅費交通費支出	41,372,000	34,881,242	6,490,758
奨学費支出	67,164,000	55,729,890	11,434,110
修繕費支出	67,770,000	78,539,731	△ 10,769,731
保険料支出	3,661,000	2,916,172	744,828
賃借料支出	76,384,000	75,822,293	561,707
諸会費支出	9,668,000	7,643,475	2,024,525

学生・生徒会補助金支出	3,848,000	3,282,683	565,317
広告費支出	5,862,000	6,233,012	△ 371,012
会議費支出	285,000	131,373	153,627
食事費支出	8,989,000	7,285,988	1,703,012
支払手数料支出	7,172,000	7,451,236	△ 279,236
教育実習謝礼支出	1,050,000	664,000	386,000
渉外費支出	3,338,000	2,610,980	727,020
業務委託費支出	599,173,000	579,873,609	19,299,391
雑費支出	322,000	118,762	203,238
管理経費支出	794,284,000	701,780,216	92,503,784
準備品費支出	0	1,166,597	△ 1,166,597
消耗品費支出	36,640,000	24,290,246	12,349,754
光熱水費支出	22,202,000	20,383,634	1,818,366
通信運搬費支出	17,520,000	9,378,450	8,141,550
福利費支出	10,255,000	8,548,703	1,706,297
出版物費支出	1,947,000	1,049,926	897,074
印刷製本費支出	22,354,000	17,352,495	5,001,505
旅費交通費支出	14,522,000	11,643,521	2,878,479
修繕費支出	15,601,000	17,540,503	△ 1,939,503
施設取壊費支出	3,717,000	0	3,717,000
保険料支出	1,481,000	1,244,735	236,265
賃借料支出	105,009,000	104,872,528	136,472
公租公課支出	2,381,000	268,900	2,112,100
諸会費支出	8,069,000	6,880,287	1,188,713
広告費支出	133,702,000	127,443,780	6,258,220
会議費支出	1,883,000	952,910	930,090
食事費支出	4,398,000	3,077,505	1,320,495
支払手数料支出	20,245,000	16,814,278	3,430,722
渉外費支出	8,273,000	4,538,718	3,734,282
業務委託費支出	363,931,000	318,905,977	45,025,023
和解金支出	0	4,796,000	△ 4,796,000
雑費支出	154,000	630,523	△ 476,523
施設関係支出	754,076,000	753,148,757	927,243
土地支出	250,000,000	258,767,727	△ 8,767,727
建物支出	501,514,000	491,819,030	9,694,970
構築物支出	2,562,000	2,562,000	0
設備関係支出	292,079,000	251,132,253	40,946,747
教育研究用機器備品支出	207,094,000	148,576,994	58,517,006
その他の機器備品支出	62,647,000	80,021,695	△ 17,374,695
図書支出	22,338,000	22,533,564	△ 195,564
資産運用支出	1,100,000,000	4,101,190,000	△ 3,001,190,000
有価証券購入支出	300,000,000	300,000,000	0

退職給与引当特定資産への繰入支出	0	180,900,000	△ 180,900,000
建物償却引当特定資産への繰入支出	500,000,000	2,600,000,000	△ 2,100,000,000
法人維持特定資産への繰入支出	300,000,000	1,020,290,000	△ 720,290,000
その他の支出	116,079,000	6,519,646,738	△ 6,403,567,738
仮払金支払支出	0	102,714,772	△ 102,714,772
前渡金支払支出	0	789,290	△ 789,290
前払金支払支出	23,000,000	43,511,000	△ 20,511,000
仮受金支払支出	0	4,549,425,863	△ 4,549,425,863
預り金支払支出	0	1,629,398,056	△ 1,629,398,056
修学旅行費預り金支出	0	85,300,379	△ 85,300,379
前期末未払金支出	93,079,000	93,078,798	202
敷金支出	0	15,428,580	△ 15,428,580
[予備費]	(0 50,000,000)		50,000,000
資金支出調整勘定	△ 121,423,000	△ 144,967,110	23,544,110
期末未払金	△ 96,000,000	△ 116,938,071	20,938,071
前期末前払金	△ 25,423,000	△ 28,029,039	2,606,039
次年度繰越支払資金	6,816,459,000	6,957,426,149	△ 140,967,149
支出の部合計	14,705,012,000	23,957,405,660	△ 9,252,393,660

資金収支計算書の目的は、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応する全ての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、また、その年度における資金の収入と支出の顛末を明らかにすることにあります。

平成24年度の収入の部の合計は23,957,405,660円、一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、16,999,979,511円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、6,957,426,149円となりました。前年度繰越支払資金が7,688,404,716円でしたので、支払資金は、平成23年度の末と比べて730,978,567円（約9.50%）の減となりました。また、前受金収入（平成25年度入学者に係る学納金等の額）を除いた平成24年度における実質的な次年度繰越支払資金は5,641,266,149円となりました。

(2) 消費収支計算書

消費収支計算書

平成24年 4月1日から

平成25年 3月31日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,497,665,000	5,429,704,683	67,960,317
授業料	3,934,220,000	3,882,199,183	52,020,817
入学金	483,380,000	483,502,500	△ 122,500
実験実習料	24,569,000	21,541,000	3,028,000
施設設備資金	987,600,000	974,890,000	12,710,000
冷暖房費	67,896,000	67,572,000	324,000
手数料	102,970,000	110,656,540	△ 7,686,540

入学検定料	96,100,000	103,505,000	△ 7,405,000
証明手数料	2,070,000	2,446,800	△ 376,800
大学入試センター試験実施手数料	4,800,000	4,704,740	95,260
寄付金	162,980,000	163,864,489	△ 884,489
特別寄付金	54,844,000	55,345,500	△ 501,500
一般寄付金	108,136,000	100,970,470	7,165,530
現物寄付金	0	7,548,519	△ 7,548,519
補助金	797,943,000	820,921,674	△ 22,978,674
国庫補助金	341,000,000	341,491,000	△ 491,000
学術研究振興資金	300,000	300,000	0
地方公共団体補助金	446,977,000	471,319,024	△ 24,342,024
都私学財団補助金	9,666,000	7,811,650	1,854,350
資産運用収入	50,000,000	37,555,744	12,444,256
受取利息・配当金	50,000,000	37,279,744	12,720,256
施設設備利用料	0	276,000	△ 276,000
事業収入	134,436,000	118,211,530	16,224,470
補助活動収入	133,486,000	106,167,000	27,319,000
収益事業収入	0	10,000,000	△ 10,000,000
受託事業収入	950,000	2,044,530	△ 1,094,530
雑収入	95,200,000	106,962,201	△ 11,762,201
私立大学退職金財団交付金	90,160,000	95,381,400	△ 5,221,400
その他の雑収入	5,040,000	8,050,752	△ 3,010,752
退職給与引当金戻入額	0	3,530,049	△ 3,530,049
帰属収入合計	6,841,194,000	6,787,876,861	53,317,139
基本金組入額合計	△ 968,452,000	△ 799,664,425	△ 168,787,575
消費収入の部合計	5,872,742,000	5,988,212,436	△ 115,470,436

(単位：円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,613,940,000	3,542,279,675	71,660,325
教員人件費	2,350,937,000	2,337,889,842	13,047,158
職員人件費	1,078,082,000	1,065,314,464	12,767,536
役員報酬	34,921,000	35,071,263	△ 150,263
退職金	0	1,300,000	△ 1,300,000
退職給与引当金繰入額	150,000,000	102,704,106	47,295,894
教育研究経費	1,993,021,000	1,919,223,006	73,797,994
準備品費	1,151,000	4,188,895	△ 3,037,895
消耗品費	105,444,000	95,117,686	10,326,314
光熱水費	133,558,000	122,891,674	10,666,326
通信運搬費	26,319,000	23,340,058	2,978,942
福利費	25,289,000	22,365,691	2,923,309

出版物費	49,155,000	47,915,735	1,239,265
印刷製本費	53,118,000	42,265,153	10,852,847
旅費交通費	41,372,000	34,881,242	6,490,758
奨学費	67,164,000	55,729,890	11,434,110
修繕費	67,770,000	78,539,731	△ 10,769,731
保険料	3,661,000	2,916,172	744,828
賃借料	76,384,000	75,822,293	561,707
諸会費	9,668,000	7,643,475	2,024,525
学生生徒会補助金	3,848,000	3,282,683	565,317
広告費	5,862,000	6,233,012	△ 371,012
会議費	285,000	131,373	153,627
食事費	8,989,000	7,285,988	1,703,012
支払手数料	7,172,000	7,451,236	△ 279,236
教育実習謝礼	1,050,000	664,000	386,000
渉外費	3,338,000	2,610,980	727,020
業務委託費	599,173,000	579,873,609	19,299,391
雑費	322,000	118,762	203,238
減価償却額	702,929,000	697,953,668	4,975,332
管理経費	860,589,000	769,371,790	91,217,210
準備品費	0	1,166,597	△ 1,166,597
消耗品費	36,640,000	24,290,246	12,349,754
光熱水費	22,202,000	20,383,634	1,818,366
通信運搬費	17,520,000	9,378,450	8,141,550
福利費	10,255,000	8,548,703	1,706,297
出版物費	1,947,000	1,049,926	897,074
印刷製本費	22,354,000	17,352,495	5,001,505
旅費交通費	14,522,000	11,643,521	2,878,479
修繕費	15,601,000	17,540,503	△ 1,939,503
施設取壊費	3,717,000	0	3,717,000
保険料	1,481,000	1,244,735	236,265
賃借料	105,009,000	104,872,528	136,472
公租公課	2,381,000	268,900	2,112,100
諸会費	8,069,000	6,880,287	1,188,713
広告費	133,702,000	127,443,780	6,258,220
会議費	1,883,000	952,910	930,090
食事費	4,398,000	3,077,505	1,320,495
支払手数料	20,245,000	16,814,278	3,430,722
渉外費	8,273,000	4,538,718	3,734,282
業務委託費	363,931,000	318,905,977	45,025,023
和解金	0	4,796,000	△ 4,796,000
雑費	154,000	630,523	△ 476,523
減価償却額	66,305,000	67,591,574	△ 1,286,574

資産処分差額	18,875,000	26,061,384	△ 7,186,384
建物処分差額	17,685,000	24,678,285	△ 6,993,285
教育研究用機器備品処分差額	150,000	265,186	△ 115,186
その他の機器備品処分差額	40,000	9,877	30,123
図書処分差額	1,000,000	1,108,036	△ 108,036
徴収不能額	0	5,722,000	△ 5,722,000
徴収不能額	0	5,722,000	△ 5,722,000
[予備費]	(0 50,000,000)		50,000,000
消費支出の部合計	6,536,425,000	6,262,657,855	273,767,145
当年度消費支出超過額	663,683,000	274,445,419	
前年度繰越消費支出超過額	3,548,901,000	3,548,900,904	
翌年度繰越消費支出超過額	4,212,584,000	3,823,346,323	

消費収支計算書は、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。消費収入とは、学生生徒等納付金等、学校法人の負債とならない収入（帰属収入）から基本金組入額を控除して計算します。基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされています。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出の他、減価償却額等、資金の支出を伴わない支出も含まれます。

平成24年度の帰属収入のうち、手数料、寄付金、補助金、雑収入は予算額を上回りましたが、学生生徒等納付金、資産運用収入及び事業収入が予算額を下回ったため、帰属収入合計では、予算に対して53,317,139円減の6,787,876,861円（予算比0.78%減）となりました。一方、基本金組入額は予算を168,787,575円下回ったため、消費収入の部合計は、予算を115,470,436円上回り、5,988,212,436円となりました。

消費支出については、人件費が全体で予算を71,660,325円下回ったほか、教育研究経費が73,797,994円、管理経費が91,217,210円、それぞれ予算を下回りました。資産処分差額については、予算を7,186,384円上回りました。予算には計上していない学生生徒等納付金に係る徴収不能額については、5,722,000円の支出額となりました。また、予備費50,000,000円は未執行でした。これらにより、消費支出の部合計は、予算を273,767,145円下回り、6,262,657,855円となりました。

以上のとおり、消費収入が予算額を上回り、消費支出が予算額を下回った結果、当年度消費支出超過額は274,445,419円となりました。

(3) 貸借対照表

貸借対照表

平成25年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	24,242,157,448	23,287,091,608	955,065,840
有形固定資産	17,448,958,738	17,228,382,878	220,575,860
土地	1,813,071,433	1,554,303,706	258,767,727
建物	12,040,441,346	12,101,161,251	△ 60,719,905
構築物	185,828,582	218,229,562	△ 32,400,980
建設仮勘定	0	13,293,000	△ 13,293,000

教育研究用機器備品	590,131,144	608,101,502	△ 17,970,358
その他の機器備品	127,945,782	67,059,618	60,886,164
図書	2,690,154,992	2,664,156,051	25,998,941
車両	1,385,459	2,078,188	△ 692,729
その他の固定資産	6,793,198,710	6,058,708,730	734,489,980
敷金	115,428,580	100,000,000	15,428,580
電話加入権	13,566,079	13,566,079	0
商標権	164,051	202,651	△ 38,600
収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
長期貸付金	3,000,000	3,000,000	0
退職給与引当特定資産	927,600,000	1,008,500,000	△ 80,900,000
建物償却引当特定資産	3,000,000,000	2,500,000,000	500,000,000
法人維持特定資産	2,730,440,000	2,430,440,000	300,000,000
流動資産	7,595,948,535	7,940,795,881	△ 344,847,346
現金預金	6,957,426,149	7,688,404,716	△ 730,978,567
修学旅行費預り資産	45,463,904	39,836,475	5,627,429
未収入金	244,185,848	175,791,060	68,394,788
仮払金	1,093,064	4,427,130	△ 3,334,066
前渡金	0	38,891	△ 38,891
前払金	47,779,570	32,297,609	15,481,961
有価証券	300,000,000	0	300,000,000
資産の部合計	31,838,105,983	31,227,887,489	610,218,494

(単位：円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,628,622,449	1,652,194,642	△ 23,572,193
退職給与引当金	1,628,622,449	1,652,194,642	△ 23,572,193
流動負債	1,571,653,251	1,463,081,570	108,571,681
前受金	1,316,160,000	1,230,868,000	85,292,000
仮受金	110,880	0	110,880
預り金	92,980,396	99,298,297	△ 6,317,901
修学旅行費預り金	45,463,904	39,836,475	5,627,429
未払金	116,938,071	93,078,798	23,859,273
負債の部合計	3,200,275,700	3,115,276,212	84,999,488
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	31,921,176,606	31,121,512,181	799,664,425
第4号基本金	540,000,000	540,000,000	0
基本金の部合計	32,461,176,606	31,661,512,181	799,664,425
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減

翌年度繰越消費支出超過額	3,823,346,323	3,548,900,904	274,445,419
消費収支差額の部合計	△ 3,823,346,323	△ 3,548,900,904	△ 274,445,419
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	31,838,105,983	31,227,887,489	610,218,494

固定資産のうち有形固定資産については、土地の購入、施設、設備の取得等により、1,025,436,886円増加した一方、減価償却及び除却等により、232,878,232円減少したため、全体で期末残高が792,558,654円増加しました。有形固定資産の期末残高より減価償却額の累計額を差引き、220,575,860円増加し、17,448,958,738円となりました。また、その他の固定資産については、茗荷谷交通ビル敷金および特定資産への積立が主な要因となり、全体で734,489,980円増加し、6,793,198,710円となりました。流動資産については、全体で344,847,346円減少し、7,595,948,535円となりました。

固定負債の退職給与引当金が23,572,193円減少し、流動負債のうち前受金が85,292,000円、未払金が23,859,273円増加するなど、流動負債が増加したことが主な要因となり、負債の部の合計は、84,999,488円増加し、3,200,275,700円となりました。

基本金の部は、799,664,425円増加し、31,921,176,606円となりました。また、消費収支差額の部（翌年度繰越消費支出超過額）は、消費収支計算書における当年度消費支出超過額である274,445,419円が増加となって、3,823,346,323円となりました。

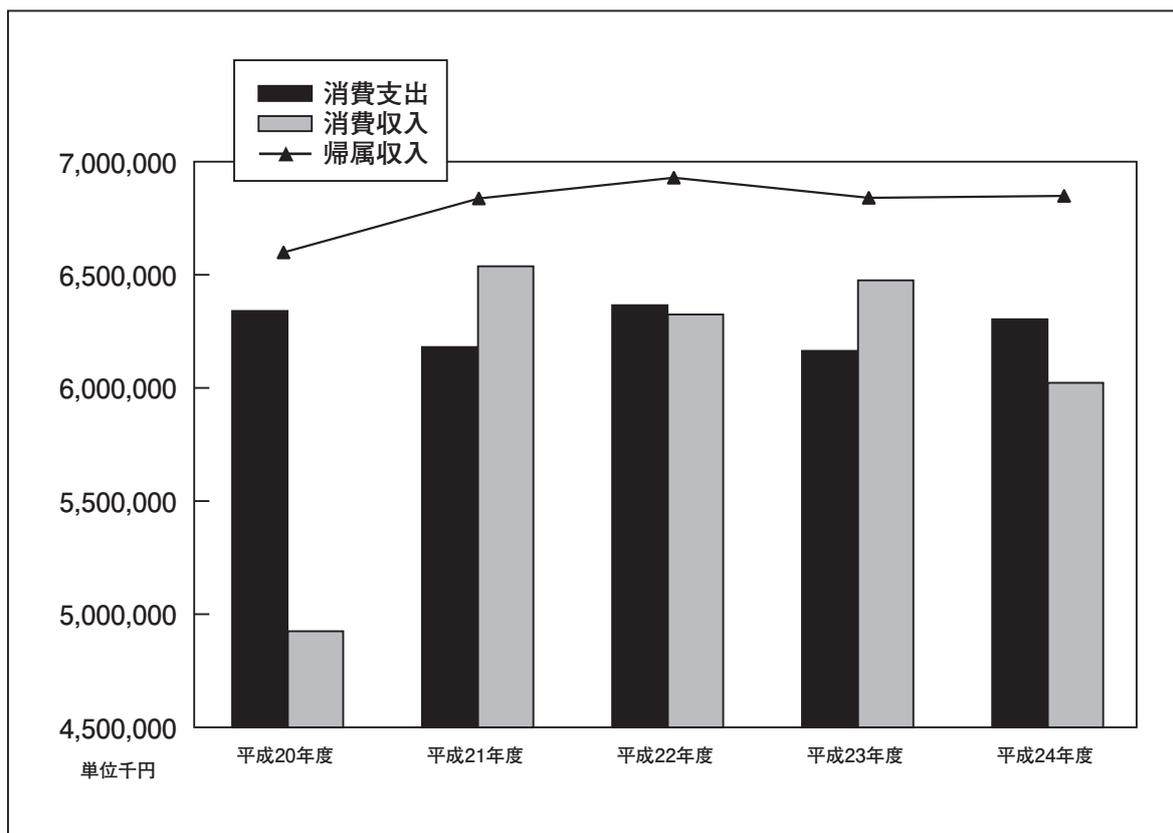
(4) 財産目録

財 産 目 録
平成25年 3月31日

I	資産総額	31,838,105,983円
	内 (一) 基本財産	17,448,958,738円
	(二) 運用財産	14,389,147,245円
II	負債総額	3,200,275,700円
III	正味財産	28,637,830,283円

区分	金額
一 資産	
(一) 基本財産	
1 土地	233,098.04㎡ 1,813,071,433円
(1) 校地	233,098.04㎡ 1,813,071,433円
2 建物	74,602.77㎡ 12,040,441,346円
(1) 校舎	70,695.86㎡ 11,752,713,615円
(2) 校外	2,157.26㎡ 191,986,391円
(3) 法人棟	1,749.65㎡ 95,741,340円
3 教具、校具、備品	32,226点 718,076,926円
4 図書	528,342冊 2,690,154,992円
5 その他	187,214,041円
(二) 運用財産	
1 現金預金	6,957,426,149円
2 積立金	6,658,040,000円
3 その他	773,681,096円
総額	31,838,105,983円
二 負債	
(一) 固定負債	
1 退職給与引当金	1,628,622,449円
(二) 流動負債	
1 前受金	1,316,160,000円
2 未払金	116,938,071円
3 その他	138,555,180円
総額	3,200,275,700円
正味財産 (資産総額－負債総額)	28,637,830,283円

2. 過去5年間の収支決算の推移について



帰属収入	負債とならない収入
消費収入	帰属収入から基本金組入額を控除した収入で、消費支出に充てられる収入
消費支出	消費する資産の取得価額及び用役の対価（人件費、消耗品、旅費交通費等）

IV. 収益事業の概要

(1) 概 要

平成24年度の収益事業部（以下「事業部」という。）は、専任職員1名、アルバイト職員1名及び派遣職員1名が業務を担当し、例年どおり主として中学校高等学校の教科書、学用品及びスポーツ用品の販売並びに駐車場賃貸業務を行った。

平成23年度から音羽駐車場は、(株)トヨタエンタプライズ（トヨタ自動車系子会社）に賃貸され、時間貸しの駐車場となったことから、年間賃料収入が19,920千円（月間1,660千円、税込）となり、事業部の経営の安定に大きく貢献している。しかし、駐車場以外の事業部の主たる業務である中学高校の学用品（教科書・副教材等その他指定用品）の販売は、商品売上が伸びるも、書籍売上が減ったため、全体として売上高は前年度比で△1,759千円の微減となった。

また、平成24年度は、収益事業部の職員が専任職員1名（前年度までは2名）とアルバイト職員1名、派遣職員1名の計3名の構成となったことに伴い、人件費減もまた、経常利益に大きく貢献している。

その結果、学園への寄付金10,000千円を計上した上で、税引前当期純利益は5,238千円（学園への寄付金を見送った前年度8,046千円）となったことにより、当期純利益は3,713千円、これと繰越利益剰余金期首残高1,359千円とを合計して得られる繰越利益剰余金期末残高は5,073千円の黒字計上となった。

<事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）
 - 中・高生教科書販売
 - ランチ販売
 - 団体保険、損害保険代理店業務
 - 駐車場賃貸
- 5月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売、幹事会・父母会等飲料水販売
収益事業決算
- 7月 中・高生夏期講習用テキスト販売
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中・高生新年度用教科書・教材問合せ準備
中学校・高校体育祭飲料水販売
中学校・高校文化祭飲料水・入試問題集・グッズ等販売
- 10月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
中学校新入生用学用品発注
- 11月 中・高生新学期用教科書入荷
中・高生用副教材発注準備・教師用指導書発注
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 12月 中・高生新学期用教科書入荷
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
中学校帰国生入試関係準備
- 1月 中・高在校生教科書副教材申込・集計等
中・高生新学期用副教材の発注
- 2月 中学校新入生副教材・学用品販売
- 3月 中・高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）
中学校・高校卒業式飲料水等販売

中・高生新学期用物品等準備
 棚卸し（月末）
 予算編成

(2) 貸借対照表について

資産の部合計 23,358千円で、前年度比 1,493千円の減
 負債の部合計 15,284千円で、前年度比 5,207千円の減
 純資産の部合計 8,073千円で、前年度比 3,713千円の増

平成23年度は、流動負債の未払金9,678千円を学園に返金し、また純資産の部の繰越利益剰余金についても、前年度の△5,784千円の赤字が解消されて1,359千円の黒字となったが、平成24年度も、資産の部が前年度よりも若干減額したが、引き続き純資産の増加が進み、健全な資産内容へと改善が進んだ。

なお、資産の部における商品1,813千円減については、在庫の適正な管理に伴う期末棚卸し高の減額によるものである。また、買掛金4,610千円減については、副教材の売上減に伴い書籍仕入が減少したことによるものである。

(3) 損益計算書について

平成24年度は、主として書籍（主に副教材）の売上減に伴い売上高合計が87,415千円となり、前年度比1,759千円減少した。一方、書籍仕入減に伴い売上原価も減少し、売上総利益は37,425千円で前年度比2,593千円の増加となった。販売費及び一般管理費の増加は、学園への寄付金10,000千円（平成18年度以来）によるものである。また当年度は専任職員1人体制（1名減）による人件費減がプラス要因となり、当期純利益は3,713千円の黒字となった。これに前年度の繰越利益剰余金1,359千円を加算すると、平成24年度の繰越利益剰余金期末残高は5,073千円となり、前年度1,359千円より3,713千円の増加となった。

平成24年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	23,091,219
固定資産	267,502
資産の部合計	23,358,721
負債の部	
流動負債	12,284,779
固定負債	3,000,000
負債の部合計	15,284,779
純資産の部	
元入金	3,000,000
剰余金・欠損金	5,073,942
繰越利益剰余金	5,073,942
純資産の部合計	8,073,942
負債・純資産の部合計	23,358,721

平成24年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)

経常損益の部	
営業損益	
営業収益	87,415,390
営業費用	49,989,930
売上総利益	37,425,460
販売費及び一般管理費	33,638,098
営業利益	3,787,362
営業外損益（収益）	1,451,091
経常利益	5,238,453
特別損益の部	
特別損失	0
税引前当期純利益	5,238,453
法人税・住民税及び事業税	1,524,500
当期純利益	3,713,953
繰越利益剰余金期首残高	1,359,989
繰越利益剰余金期末残高	5,073,942

監 査 報 告 書

平成 2 5 年 5 月 1 6 日

学校法人 跡 見 学 園
理 事 会 御 中
評 議 員 会 御 中

学校法人 跡 見 学 園

監事 金井 塚 清 
監事 伊 澤 辰 雄 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第10条の規定に基づき、平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（角諭、杉山七美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

可 決 承 認 日

◎平成25年度跡見学園事業計画及び収入支出予算

平成25年3月26日 第317回 評議員会
第365回 理事会

◎平成24年度跡見学園事業実績の報告及び収支決算報告

平成25年5月21日 第366回 理事会
第318回 評議員会

跡見学園法人事務局 総務部庶務課



跡見学園報 第56号 別冊

発行日 平成25年 7月16日

編集 跡見学園法人事務局

発行 学校法人跡見学園

〒112-8629

東京都文京区大塚一丁目5番9号

電話 03-3941-8161

FAX 03-3941-8162

URL : <http://www.atomi.ac.jp/>